

西脇市スポーツ推進計画



令和3年3月
西脇市

西脇市スポーツ推進計画の策定に当って

人口減少や少子化による社会情勢の変化に伴い、いろいろな分野で課題を抱えており、本市スポーツ分野においても、指導者の育成、スポーツを親しむ機会の創出や中学校の部活動の在り方など、様々な課題が浮き彫りとなっています。

また、国においては、平成23（2011）年にスポーツ基本法^{*1}が制定され、平成27（2015）年10月に文部科学省の外局としてスポーツ庁^{*2}が創設されるとともに平成29（2017）年4月に第2期スポーツ基本計画^{*3}が策定されました。

その中の基本方針として

「～スポーツが変える。未来を創る。Enjoy Sports, Enjoy Life～ スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核であり、全ての人々が自発的にスポーツに取り組み、自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある社会と絆の強い世界を創る。」と示されています。

人生 100年時代とも呼ばれる社会において、世代、性別や国籍等に関わらず、全ての市民が継続して活躍できる社会、安心して暮らせる社会の構築が必要となります。

平成23（2011）年度に策定いたしました西脇市生涯スポーツ振興基本計画が令和2（2020）年度をもって終期を迎えることから、西脇市自治基本条例に基づく第2次西脇市総合計画に示す「生涯活躍・共生社会の実現」と令和元（2019）年度から5年間を対象とする第3期西脇市教育振興基本計画『教育創造にしわきプラン』に示す「生涯学び、人生を豊かに生きられる環境を整える」ことを目標に、新たな5年間を対象に浮き彫りになった課題解決のための西脇市スポーツ推進計画を策定しました。

本計画では「スポーツに親しみ、笑顔でつながる 健幸都市にしわき」を基本理念として掲げております。これは市民の誰もがいつでも気軽にスポーツを親しむための機会づくりを推進することで、笑顔が絶えない地域を創出し、そこに生まれるつながりによって、地域社会が活性化し、市民生活が健康で豊かになることを目指すものです。

これまで、培われた西脇市のスポーツ文化を継承しながら、新しいものを積極的に取り入れ、市民や様々な関係団体等と協働しながら西脇市スポーツ文化の新たなステージに向けて取組んでまいります。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました西脇市スポーツ推進計画策定会議の皆様をはじめ、ご協力をいただきました全ての方々に、感謝とお礼を申し上げます。

令和3年3月

西脇市教育長 笹倉 邦好

目次

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景と目的	1
2 計画の位置付け	2
3 計画の期間	3

第2章 スポーツをめぐる現状等

1 少子高齢化と人口減少社会	4
2 西脇市体育協会等スポーツ団体の現状	5
3 スポーツへの期待	6
4 スポーツ・健康まちづくり施策	6
5 スポーツに関する調査	7
6 西脇市生涯スポーツ振興基本計画における主な成果	11
7 スポーツ活動の現状と課題	13

第3章 基本理念と基本目標

1 基本理念	14
2 基本目標と重点目標	15
3 西脇市スポーツ推進計画体系図	16

第4章 西脇市のスポーツ推進施策

1 生涯スポーツの振興	17
重点目標 1 - 1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	17
重点目標 1 - 2 スポーツ活動への積極的な参加の推進	21
重点目標 1 - 3 子どものスポーツ活動の推進	24
重点目標 1 - 4 オリンピックレガシーの創出と継承	26
2 競技スポーツの振興	27
重点目標 2 - 1 各種スポーツ大会の開催支援	27
重点目標 2 - 2 トップアスリートを活用した競技スポーツ普及活動の推進	28
3 スポーツの環境整備	30
重点目標 3 - 1 スポーツ施設の整備・充実・有効活用	30
重点目標 3 - 2 スポーツ指導者の育成・確保・活用の推進	32
重点目標 3 - 3 スポーツ情報の発信等の推進	33
重点目標 3 - 4 スポーツ活動推進組織の構築	34

第5章 計画の推進体制と進捗管理

1 計画の推進体制と進捗管理	36
----------------	----

【巻末】

- ・西脇市スポーツ推進計画策定会議の概要
- ・用語解説（50音順・初出ページ順）
- ・参考資料

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景と目的

平成23（2011）年に新たにスポーツ基本法が制定され、スポーツは国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものと定義した上で、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利であると明文化されました。そして平成24（2012）年3月には、同法第9条の規定に基づきスポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、スポーツ基本計画が策定されました。

また、スポーツ基本法の理念の実現に向け、平成27（2015）年10月に文部科学省の外局としてスポーツ庁を創設するとともに、スポーツ基本計画に基づく諸施策の達成状況や、社会情勢の変化を踏まえた課題を検証・評価した上で、平成29（2017）年4月に第2期スポーツ基本計画を策定しました。その中で計画が目指す方向性を簡潔に示すため、次の4つの観点からスポーツの価値を説明しています。

- ① スポーツで「人生」が変わる
- ② スポーツで「社会」を変える
- ③ スポーツで「世界」とつながる
- ④ スポーツで「未来」を創る

その上で、スポーツ参画人口を拡大し、他分野との連携・協力によって「一億総スポーツ社会」の実現^{※4}に取り組む基本方針を示しています。「する」「みる」「ささえる」^{※5}といった様々な形態を通じた積極的なスポーツへの参画は、スポーツを楽しむ、喜びを得るというスポーツの価値の享受が期待できます。スポーツを日常生活に位置付け、国民一人ひとりが生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤として、年代や関心、適性等に応じてスポーツに親しむ機会の充実を目指し、各施策が展開されています。

一方、本市においては、第2次西脇市総合計画^{※6}において、多くの市民がそれぞれのライフステージ^{※7}やライフスタイル^{※8}に応じてスポーツを楽しみ、相互の交流が進む中で、健やかな心身が養われることを目的に次の3つを定めています。

- ① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ② スポーツを支える環境の整備
- ③ 特色あるスポーツの振興と交流の推進

また、本市は東京2020オリンピック・パラリンピック^{※9}のホストタウン^{※10}としてオリンピックレガシー^{※11}を後世に伝承するために、大会終了後もスポーツ・文化・教育等において相手国との交流を継続的に行うこととしています。

このような国や本市のスポーツ施策の取組を踏まえつつ、今後の本市のスポーツ施策を計画的に推進するため、西脇市スポーツ推進計画を策定します。

2 計画の位置付け

本計画は、スポーツ基本法第10条の規定に基づき、国のスポーツ基本計画を参酌して、策定する地方スポーツ推進計画^{*12}であり、本市の実情に即したスポーツの推進を図ろうとするものです。

また、西脇市生涯スポーツ振興基本計画^{*13}の成果や課題を踏まえつつ、西脇市総合計画や西脇市教育振興基本計画「教育創造にしわきプラン」^{*14}等の上位計画や兵庫県スポーツ推進計画^{*15}との整合性を図るとともに、関係機関と連携の下で、中長期的視点から本市における生涯スポーツ社会の構築を図るものです。

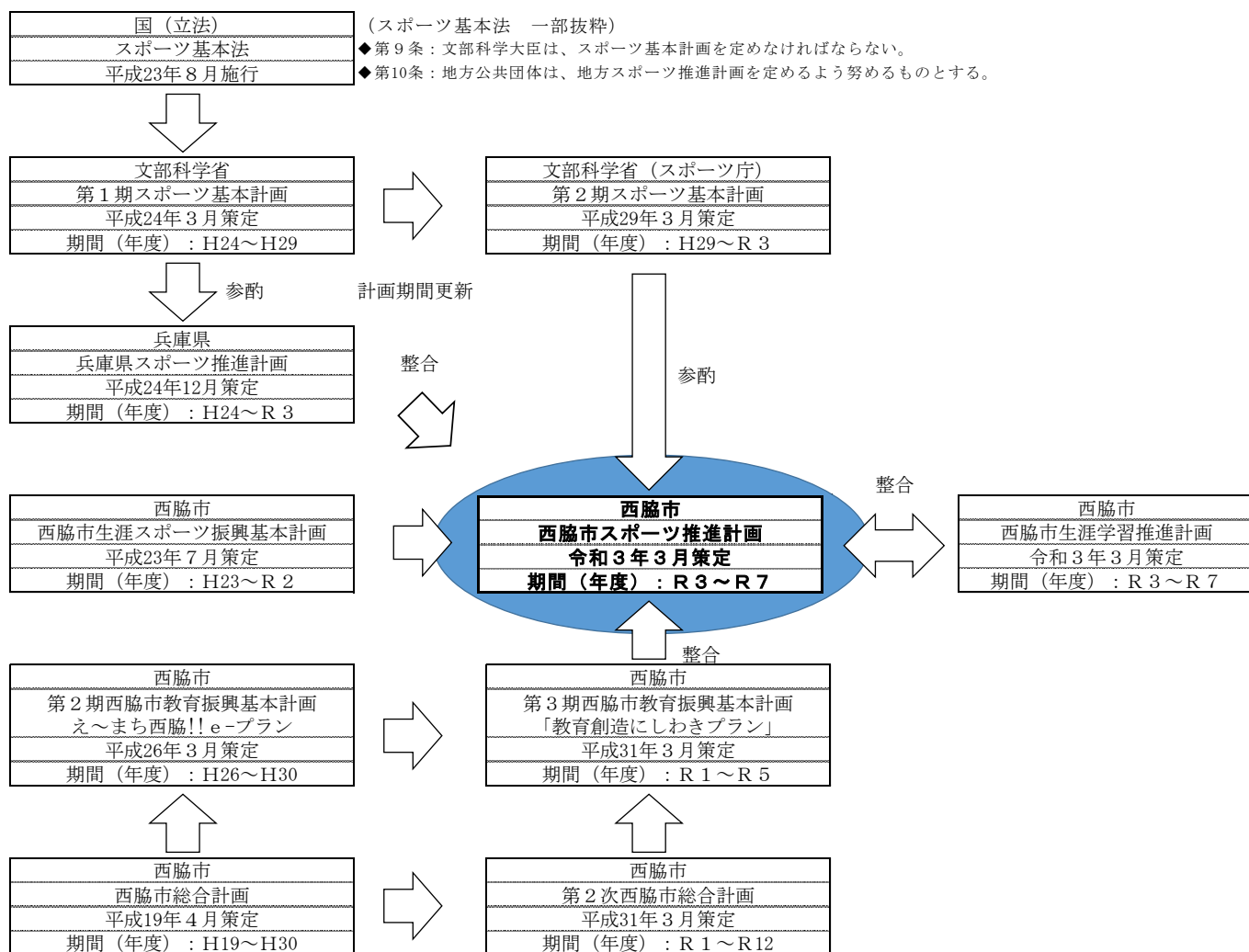


図 西脇市スポーツ推進計画と関連計画等

3 計画の期間

本計画の期間は、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間とします。

なお、本市におけるスポーツへのニーズ、国や社会の動向、本計画に示した事業の進捗状況の検証などを踏まえながら、必要に応じて計画の見直しを行うものとします。

◆計画期間（年度）

令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)
第2次西脇市総合計画											
第3期西脇市教育振興基本計画											
		西脇市スポーツ推進計画									
		西脇市生涯学習推進計画									

第2章 スポーツをめぐる現状等

1 少子高齢化と人口減少社会

我が国では全国的に少子高齢化が進行しており、将来的に人口減少が加速化することが予想されています。本市においても、第2次西脇市総合計画（令和元（2019）年～12（2030）年）や第3期西脇市教育振興基本計画「教育創造にしわきプラン」（令和元（2019）年～5（2023）年）に示されているように（図1）、この先、5年ごとに2千人を超える人口が減少していくと予想されています。

【人口減少予測 図1】

	平成22年 (2010年) 実績値	平成27年 (2015年) 実績値	令和2年 (2020年) 推計値	令和7年 (2025年) 推計値	令和12年 (2030年) 推計値	令和17年 (2035年) 推計値	令和22年 (2040年) 推計値
西脇市 (人)	42,802	40,866	38,775	36,583	34,341	32,067	29,823
類似団体 (人)	39,974	38,096	36,344	34,460	32,518	30,508	28,419
兵庫県 (千人)	5,558	5,535	5,443	5,306	5,139	4,949	4,743

※ 国立社会保障・人口問題研究所が推計した「日本の地域別将来推計人口」（平成30（2018）年推計）による。

また、人口構造（年齢構成）においては、高齢化率が増加すると予想されています。（図2）

【年齢構成図 図2】

年次	平成22年 (2010年) 実績値	平成27年 (2015年) 実績値	令和7年 (2025年) 推計値
年少人口 (0～14歳)	14%	13%	12%
生産人口年齢 (15～64歳)	58%	56%	54%
高齢者人口 (65歳～)	28%	31%	34%

※ 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所が推計した「日本の地域別将来推計人口」（平成30（2018）年推計）による。

2 西脇市体育協会等スポーツ団体の現状

令和5（2023）年に創設70周年を迎える西脇市体育協会^{※16}は、本市のスポーツ活動をけん引する役割を担ってきました。

また、平成18（2006）年ののじぎく兵庫国体前に兵庫県の各市町の小学校区に設置されたスポーツクラブ21^{※17}についても、ニュースポーツ等を楽しむ市民が多く参加し、地域の活性化に寄与してきました。

しかしながら、少子高齢化、人口減少、共働きの増加、定年延長などの社会情勢の変化やそれに伴う価値観の多様化などの要因もあり、西脇市体育協会の加盟協会登録者数は、平成25（2013）年度にグラウンド・ゴルフ協会が加入したことにより、高齢者の登録が大幅に増加したものの、令和2（2020）年度には微減となっており、減少傾向は継続しています。

また、市内各地区のスポーツクラブ21についても子どもや若年層の会員登録数が年々減少し西脇市スポーツ少年団に加盟している単位団数・登録者数も平成23（2011）年度の9団体 240人から、令和2（2020）年度には7団体 133人まで減少しています。



写真 1 市民体育大会総合開会式

3 スポーツへの期待

スポーツ庁の発足から5年が経過し、スポーツによる健康増進や地域活性化など総合的なスポーツ施策が進められる中、将来に向けて「スポーツの価値を活用した社会変革」に期待が寄せられています。

また、政府の成長戦略フォローアップ^{※18}におけるスポーツ産業の具体的な施策として「スポーツの成長産業化の基盤形成」や「スポーツを核とした地域活性化」の2つが掲げられています。

さらに、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略^{※19}でも「スポーツ・健康まちづくり」による経済と社会の活性化が掲げられるなど、スポーツの持つ潜在的で多様な価値への期待がますます高まっています。

4 スポーツ・健康まちづくり施策

国民に対するスポーツや運動・身体活動の健康増進への寄与は広く周知され、スポーツ庁の設置により、スポーツ施策の中でも健康増進への取組について、総合的な推進が図られています。また、少子高齢化と人口減少が進む中、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部^{※20}事務局及び内閣府地方創生推進事務局^{※21}は、平成30（2018）年度に第2期地方創生（令和2（2020）年度から令和6（2024）年度まで）「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」^{※22}を定め、第1期地方創生の基本目標をベースに時代の流れに沿った新しい視点から、スポーツ・健康まちづくりの推進が盛り込まれました。

本市においてはこのような背景なども踏まえながら、市民がいつまでも健やかで幸せに暮らせる「健幸都市・にしわき」^{※23}の実現に向け、健康寿命の延伸を目指し、施策を推進しています。

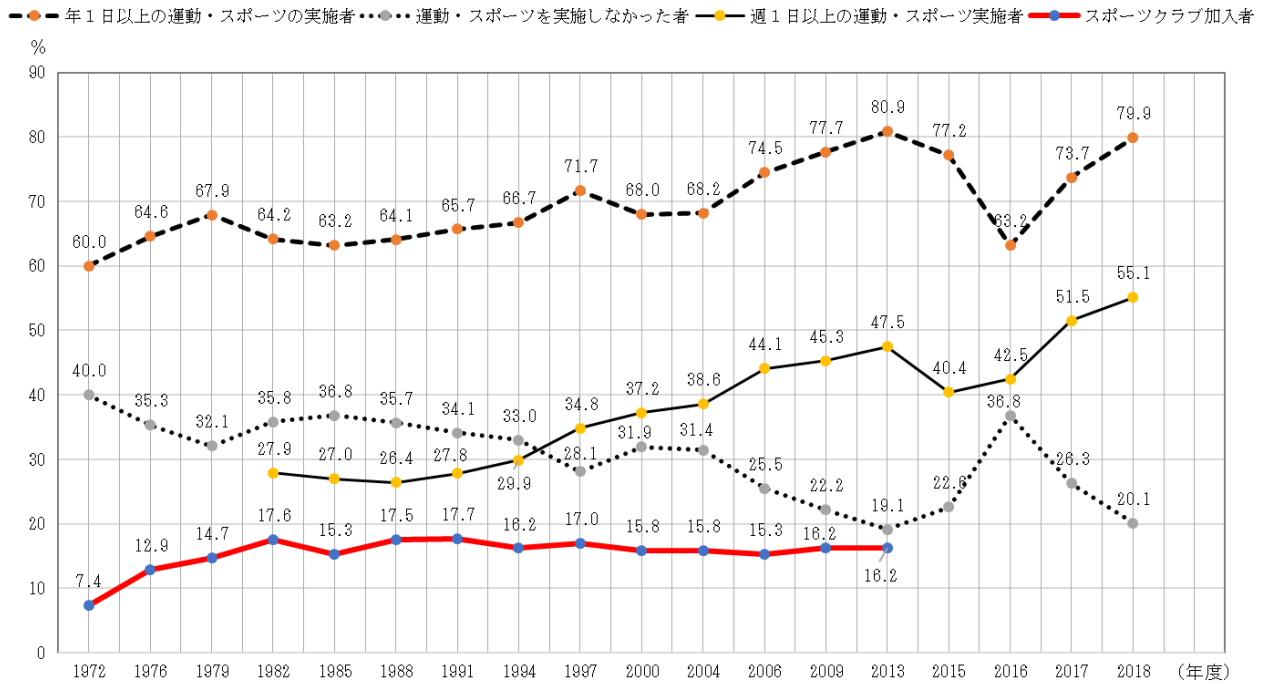


写真 2 スポーツ推進委員による出前講座

5 スポーツに関する調査

身体活動において、内閣府、文部科学省、スポーツ庁等が実施してきた調査結果は次のとおりです。

運動・スポーツ実施率の推移（20歳以上）



※ 2016～2018年調査の「運動・スポーツを実施しなかった者」には回答選択肢「わからない」が含まれる。

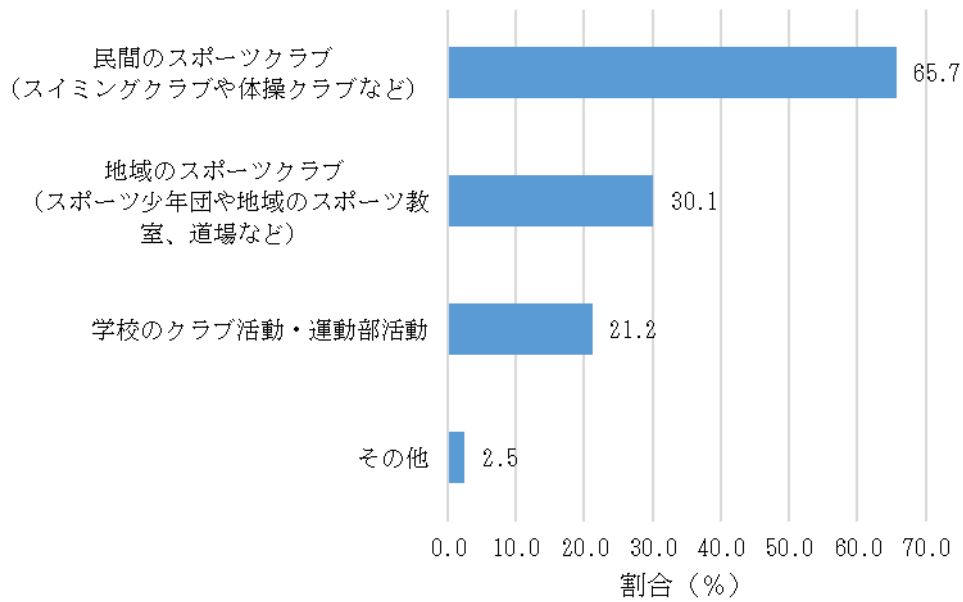
内閣府（旧総理府）「体力・スポーツに関する世論調査」（1972～2009）、文部科学省「体力・スポーツに関する世論調査」（2013）、内閣府「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査」（2015）、スポーツ庁「スポーツ実施状況等に関する世論調査」（2016～2018）、笹川スポーツ財団スポーツ白書2020による。

本市との比較

年度	項目	本市	国
平成28年度 (2016年度)	過去1年間に、週1日以上の運動・スポーツを実施した者	25.4%	55.1%
	過去1年間に、運動・スポーツを実施しなかった者	39.0%	20.1%

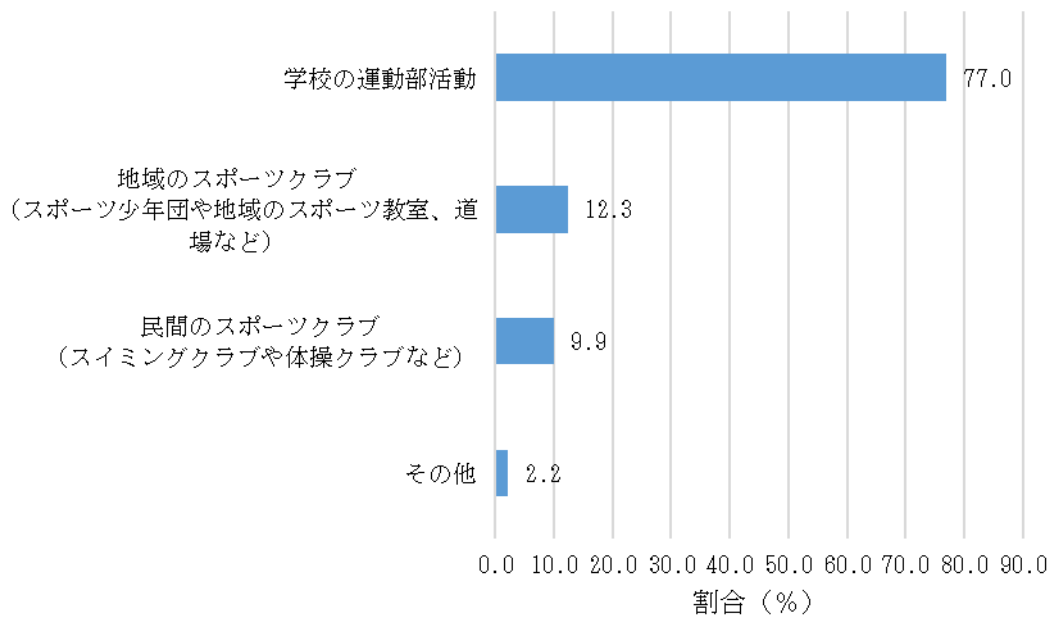
両調査とも、国の調査と比較すると実施しなかった者の割合が高くなっています。これまで以上に市民が運動・スポーツに興味を示すような取組や啓発を行う必要があります。

4～11歳の加入しているスポーツクラブ・運動部の種類（複数回答；n=883）

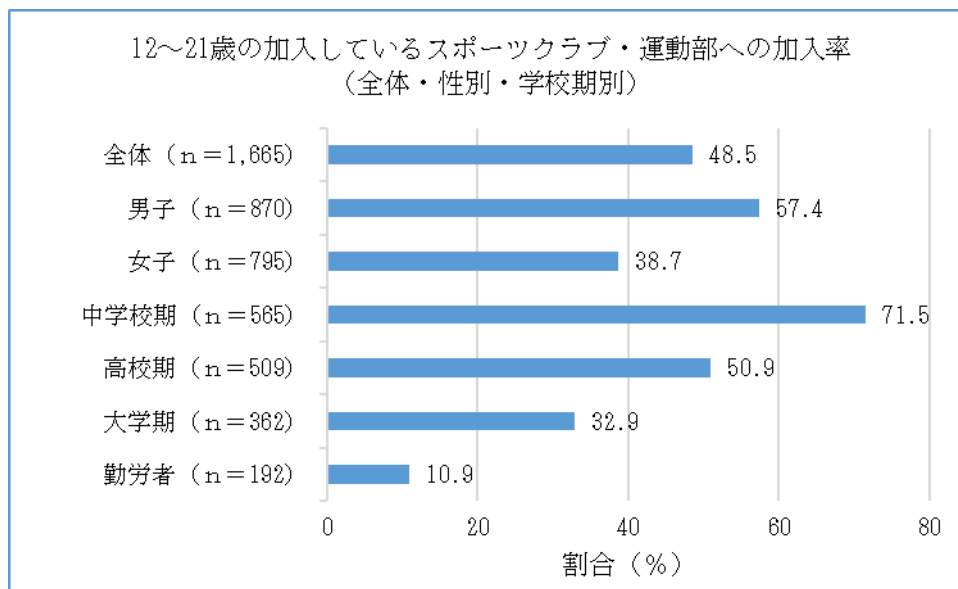


※ SSF「子ども・青少年のスポーツライフ・データ」（2019）、笹川スポーツ財団「スポーツ白書2020」による。

12～21歳の加入しているスポーツクラブ・運動部の種類（複数回答；n=807）



※ SSF「子ども・青少年のスポーツライフ・データ」（2019）、笹川スポーツ財団「スポーツ白書2020」による。

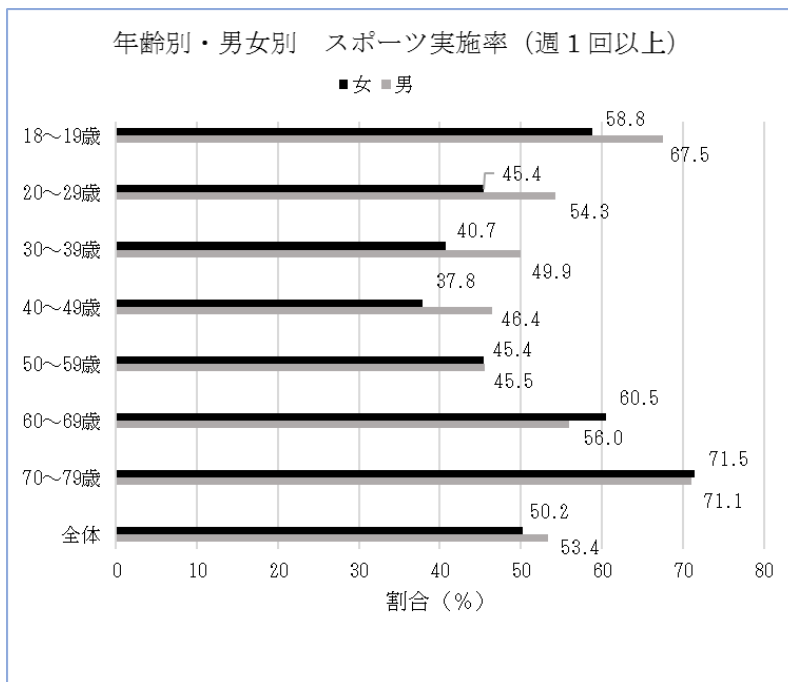


※ SSF「子ども・青少年のスポーツライフ・データ」(2019)、笹川スポーツ財団「スポーツ白書2020」による。

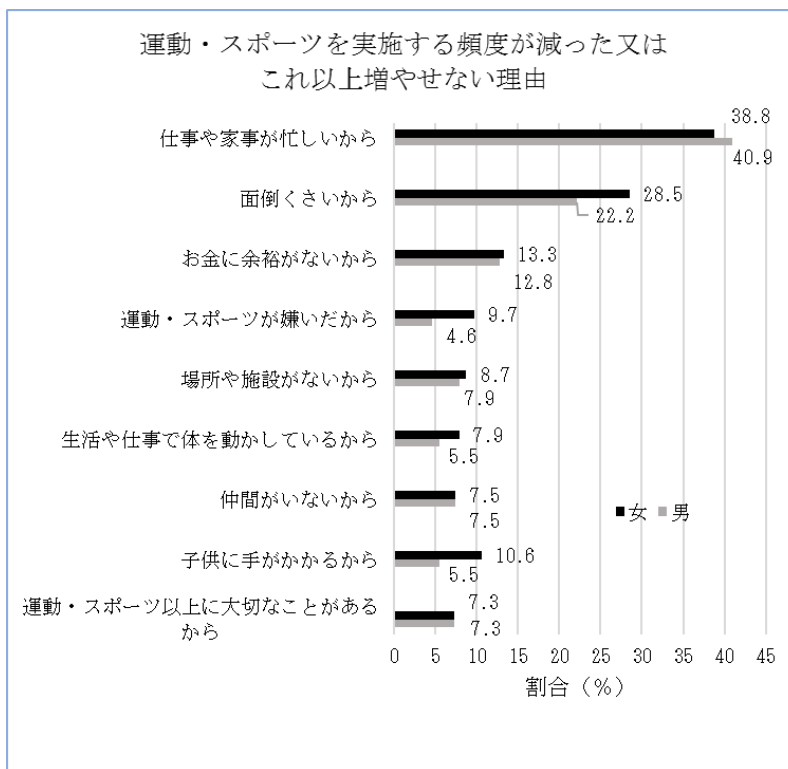
小学生以下の子どもたちについては、スポーツ活動の多くはスポーツ少年団や民間クラブへの加入により行われており、本市においても同様の状況にあります。小学生以下の子どもたちのスポーツ活動の受け皿となるスポーツ関係団体等の活性化に向け、継続的に支援するとともに、協力体制を強化することが必要です。



写真 3 西脇市スポーツ少年団創設50周年記念式典



※ スポーツ庁「平成29年度 スポーツ実施状況等に関する世論調査」による。



※ スポーツ庁「平成29年度 スポーツ実施状況等に関する世論調査」による。

女性のスポーツ活動の実施率は、多くの年代で男性よりも低くなっており、特に50歳未満ではその差異が大きくなっています。

また、スポーツを実施する頻度が減った又はこれ以上増やせない理由について、「仕事や家事が忙しいから」「面倒くさいから」の割合が高くなっていることから、日常生活の中でスポーツ活動への関心が低いことが示されています。

6 西脇市生涯スポーツ振興基本計画における主な成果

西脇市生涯スポーツ振興基本計画（平成23（2011）年～令和2（2020）年）の目標

	項 目	平成23年 (2011年) 3月末現在	目 標	
			5年後 平成27年 (2015年)	10年後 令和2年 (2020年)
①	健康づくりのために、日ごろから何らかの活動、取組（ウォーキングや体操など）をしている。	48.1%	55.0%	60.0%
②	過去1年間に、週1回以上スポーツ、レクリエーション活動に取り組んでいる。	10.7%	20.0%	33.0%
③	西脇市体育協会加盟協会数	18協会	20協会	22協会
④	西脇市スポーツ少年団※24加盟単位団数	9単位団	12単位団	15単位団
⑤	市民体育大会参加者数	3,432人	3,700人	4,000人
⑥	スポーツクラブ21登録者数（8クラブ）	900人	1,000人	1,100人

目標① 健康づくりのために、日ごろから何らかの活動、取組（ウォーキングや体操など）をしている。60.0%

成 果 46.2%（平成29（2017）年度）

評 価 健康づくりのための身体活動※25や運動の推進について、検討が必要です。

目標② 過去1年間に、スポーツ、レクリエーション活動に取り組んでいる。33.0%

成 果 25.4%（平成30（2018）年度）

評 価 アンケートの質問方法にもよりますが、平成23（2011）年度との比較では大きく前進している。引き続き、多くの市民がスポーツ活動や健康に興味を示すよう推進することが必要です。

目標③ 西脇市体育協会加盟協会数 22協会

成 果 20協会（令和2（2020）年度）

評 価 微増しているが、休部協会もあり、今後は市民ニーズ等を参考に若年層が興味を持っている競技協会等の立上げについて検討を行うことが必要です。

目標④ 西脇市スポーツ少年団加盟単位団数 15単位団

成 果 7単位団（令和2（2020）年度）

評 価 少子化の影響により、2つの単位団が退団している。今後の組織の在り方や役割等を再考することが必要です。

目標⑤ 市民体育大会参加者数 4,000人

成 果 2,300人（令和2（2020）年度）

評 価 社会情勢の変化により、スポーツ大会に参加する人が減少している。スポーツ活動を通じた仲間づくりや親しみやすい環境整備が必要です。

目標⑥ スポーツクラブ21登録者数（8クラブ） 1,100人

成 果 651人（令和2（2020）年度）

評 価 8クラブにおいて地域差や開催種目による差がみられますが、どのクラブでも指導者不足による種目数の減少や社会情勢の変化等による会員の減少がみられます。また、事務局等の人員確保も困難となっており、今後の組織のあり方についての検討が必要です。



写真 4 スポーツ推進委員主催「にしわきウオーキング会」

7 スポーツ活動の現状と課題

1 生涯スポーツの振興

少子高齢化、人口減少、共働きの増加、定年延長などに起因した、市民それぞれのライフステージにおけるライフスタイルの多様化が進むとともに、障害の有無や年齢、性別、国籍を問わない、共生社会^{※26}の実現に向けた取組も行われており、スポーツ活動も多様なニーズに合わせた取組が必要となります。

また、これまで「する」スポーツをけん引してきた体育協会やスポーツクラブ21も会員数は減少しており、時代のニーズに応じた運営や競技種目の選定が必要となります。

さらに、人生100年時代^{※27}とも呼ばれる社会において、スポーツ活動による健康寿命^{※28}の延伸が重要な課題となり、医療や福祉と連携した取組が必要となります。

2 競技スポーツの振興

本市はこれまでに様々な競技において、世界や全日本クラスのトップアスリートを輩出しています。それは競技スポーツへの支援や環境が一つの要因となり、競技スポーツの振興に良い循環をもたらしているからです。

近年ではプロの競技者の試合の開催支援をするなど「みる」スポーツを推進し、競技者に刺激を与えています。

社会情勢の変化に伴い、競技スポーツを取り巻く環境も変化する中、国や兵庫県と連携しながら、今後も変わることなく世界で活躍できるトップアスリートの卵たちを支援することが必要です。

3 スポーツの環境整備

本市の既存スポーツ施設については、市民が継続してスポーツ活動が行えるよう改修や修繕を行っていますが、老朽化も進んでおり、市民の新たなニーズに対応するための施設整備に課題を抱えています。

また、スポーツ関係団体や地域のスポーツ推進組織では、指導者の高齢化や人材不足などが進んでおり、参加者も減少傾向にあります。

市民が将来にわたって健やかにスポーツを楽しめる環境を確保していくためには、施設整備等に係る財源の確保や地域・民間と連携した運営など、効果的・効率的なスポーツ環境の整備を図るとともに、リーダーの育成、スポーツ関係機関の機能強化などを通じ、関わる人・携わる人など「ささえる」スポーツを拡大していく取組が必要です。

第3章 基本理念と基本目標

1 基本理念※29

人生 100年時代とも呼ばれる社会においては、健康寿命の延伸や共生社会の実現は重要な課題となります。健康維持のためのスポーツ活動の重要性や必要性を周知するとともに、世代、性別や国籍等に関わらず、市民の誰もがいつでも気軽にスポーツを親しむための機会づくりを推進することで、笑顔が絶えない地域を創出します。そして、そこに生まれるつながりによって、地域社会が活性化するとともに、市民生活が健康で豊かになることを目指して、次のとおり基本理念を定めます。

スポーツに親しみ、笑顔でつながる 健幸都市にしわき



写真 5 西脇子午線マラソン大会

2 基本目標と重点目標

基本理念の実現に向けて、次のとおり3つの基本目標を定めるとともに、基本目標ごとに特に重点的に取り組むべき事項としてそれぞれ重点目標を設定します。

基本目標1 生涯スポーツの振興

社会情勢が大きく変化する時代において、全ての市民が生涯を通じて健康で活躍できる社会を築いていくため、多様化するライフスタイルやそれぞれの身体状況等に対応したスポーツ施策を展開します。

また、人生100年時代とも呼ばれる社会において、市民の健康増進や健康寿命の延伸に寄与できるようスポーツ活動を推進します。

【重点目標】

- 1-1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- 1-2 スポーツ活動への積極的な参加の推進
- 1-3 子どものスポーツ活動の推進
- 1-4 オリンピックレガシーの創出と継承

基本目標2 競技スポーツの振興

西脇市体育協会を中心として各種競技大会を行うほか、全国規模の大会等への参加者について支援を行います。

また、競技スポーツへの関心の向上と自己意識の高揚を図るため、トップアスリートによるスポーツ教室やプロリーグを開催するなど、夢と希望にあふれたトップアスリートの卵を応援します。

【重点目標】

- 2-1 各種スポーツ大会の開催支援
- 2-2 トップアスリートを活用した競技スポーツ普及活動の推進

基本目標3 スポーツの環境整備

計画的な修繕や改修等により施設の有効活用を図り、市民の誰もがいつでも気軽に継続してスポーツに親しむことのできる環境整備に努めます。

また、新たな市民ニーズに対応するため、リーダーの育成、補助金等の活用や民間との協働による施設整備の可能性を検討します。

【重点目標】

- 3-1 スポーツ施設の整備・充実・有効活用
- 3-2 スポーツ指導者の育成・確保・活用の推進
- 3-3 スポーツ情報の発信等の推進
- 3-4 スポーツ活動推進組織の構築

3 西脇市スポーツ推進計画体系図

基本目標	重点目標	施策の柱	主な取組	
① 生涯スポーツの振興	① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	① ライフステージに応じた機会の創出	遊びを通じたスポーツの推進 自由に参加できるスポーツ活動の創出（「する」スポーツの推進） 卓球を通じた生涯スポーツの推進 ユニバーサルスポーツの推進 健康ポイント制度の活用を推進 スポーツを通じた世代間交流事業の実施	
		② いつでも・どこでも・ひとりでもできるスポーツの推進	市内ウォーキングコースの利用促進 市内ランニングコースの設定 市民交流施設の利用促進 日常生活の中でできる運動の推進	
		③ 人生100年時代を幸せに過ごすためのスポーツ活動の推進	健幸運動教室Ni-Coの推進 おりひめ体操の推進	
		② スポーツ活動への積極的な参加の推進	① 市民主導型スポーツ活動の推進	スポーツクラブ21への支援 西脇市体育協会への支援 西脇市民体育大会における交流大会の開催を検討 出前講座の開催やスポーツ用具等の貸出しの推進
			② スポーツ活動への参加の推進	多種多様なスポーツ教室の開催 女性が参加しやすいスポーツ活動の推進 障害者スポーツの振興 ユニバーサルスポーツの推進（再掲）
			③ 子どものスポーツ活動の推進	① 子どものスポーツ活動の充実 多種多様なスポーツ教室の開催（再掲） スポーツ少年団活動への支援
	④ オリμπックレガシーの創出と継承	① スポーツレガシーの推進	卓球を通じた生涯スポーツの推進	
		② トップアスリートを活用した競技スポーツ普及活動の推進	① トップアスリートによるスポーツ教室の開催支援 ② 各種競技プロリーグの開催支援 「みる」スポーツの推進	
	② 競技スポーツの振興	① 各種スポーツ大会の開催支援	① 各種競技大会の開催支援	全国規模の大会等の開催支援 各種競技スポーツ大会等の開催支援 全国大会をはじめとする各種競技大会参加への支援 スポーツ表彰制度の推進
			② トップアスリートを活用した競技スポーツ普及活動の推進	① トップアスリートによるスポーツ教室の開催支援 ② 各種競技プロリーグの開催支援 「みる」スポーツの推進
		③ スポーツ情報の発信等の推進	① スポーツ施設の改修・整備	スポーツ施設の改修・整備 各地区のスポーツ拠点整備の推進
			② スポーツ施設の管理運営	スポーツ施設の管理運営 市民との協働によるスポーツ施設の維持管理
	③ スポーツの環境整備	① スポーツ施設の整備・充実・有効活用	③ スポーツにおける安全の確保と事故の予防	安全の確保と事故の予防
② スポーツ指導者の育成・確保・活用の推進			① スポーツ推進委員の資質向上・活用 スポーツ推進委員によるスポーツ振興自主事業の開催 健幸推進事業の実施	
④ スポーツ活動推進組織の構築			① スポーツ関係機関の連携強化 スポーツ交流ネットワークの構築 異種競技スポーツ交流大会の開催 県・他の市町との連携	
② ボランティアの育成と組織化		① スポーツ関係機関の連携強化	スポーツ関係機関の連携強化 スポーツ交流ネットワークの構築 異種競技スポーツ交流大会の開催 県・他の市町との連携	
		② ボランティアの育成と組織化	スポーツボランティアバンクの検討 「ささえる」スポーツの推進	

第4章 西脇市のスポーツ推進施策

1 生涯スポーツの振興

【重点目標1-1】

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

人生100年時代を見据え、健康寿命の延伸は重要な課題になります。健康維持のためのスポーツ活動の重要性や必要性を周知するとともに、ライフステージに応じて誰もがいつでも気軽にスポーツ活動を親しむための機会づくりを推進します。

(1) ライフステージに応じた機会の創出

◆ 遊びを通じたスポーツの推進

幼児・児童期には身体を動かすことを好きになることが重要です。親子で参加できるレクリエーションやごっこ遊びなど楽しさを通じたスポーツ教室・イベントを開催します。

【具体的な取組】

- ・民間を活用した遊びを通じたスポーツ教室の開催

◆ 自由に参加できるスポーツ活動の創出（「する」スポーツの推進）

団体への加盟や教室への申込みに加え、スポーツをしたい人が自由に集まることができる施設や機会を創出し、ライフスタイルに応じたスポーツ活動を促進します。

【具体的な取組】

- ・体育施設の無料開放

◆ 卓球を通じた生涯スポーツの推進

市内各町公民館等へ卓球台を配置するとともに、卓球交流大会を開催するなど、グラウンド・ゴルフやウォーキングに加え、年齢を問わず楽しめる卓球を通じた生涯スポーツを推進します。

【具体的な取組】

- ・卓球交流イベント・大会の開催
- ・地域の公民館等への卓球台配置

◆ ユニバーサルスポーツ^{※30}の推進

障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず、全ての人が分け隔てなく、スポーツを楽しみ、スポーツを通じて、互いを理解・尊重する共生社会の実現に向けて、ニュースポーツ^{※31}を利用したユニバーサルスポーツ大会の開催を推進します。

【具体的な取組】

- ・ ボッチャ^{※32}等のユニバーサルスポーツ大会の開催

◆ 健康ポイント制度の活用を推進

市民がウォーキングなど健康づくりに取り組むことでポイントが貯まる健康ポイント制度を推進し、楽しみながら活動に参加するきっかけづくりにつなげます。

【具体的な取組】

- ・ スポーツイベント等での健康ポイント制度のPR

◆ スポーツを通じた世代間交流事業の実施

地域の活性化や生きがいづくりを目指し、スポーツによる世代間交流イベントを開催します。

【具体的な取組】

- ・ スポーツを通じた世代間交流グラウンド・ゴルフ大会の開催

測定指標

- ・ 遊びを通じたスポーツの推進に係るイベントへの参加者数

【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：50人／年】

- ・ 過去1年間に、週1回以上、スポーツ・レクリエーション活動をしたことがある市民の割合

【現状値（2018年度）：25.4% ⇒ 目標値（2025年度）：35.0%】

- ・ 過去1年間に、スポーツ・レクリエーション活動をしなかった市民の割合

【現状値（2018年度）：39.0% ⇒ 目標値（2025年度）：31.0%】

- ・ 卓球交流イベント・大会の開催回数及び参加者数

【現状値（2020年度）：未実施 ⇒

目標値（2025年度）：1回／年 100人】

- ・卓球台が整備された公共施設等の数
【現状値（2020年度）：37か所 ⇒ 目標値（2025年度）：60か所】
- ・ユニバーサルスポーツ大会の開催回数及び参加者数
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒
目標値（2025年度）：1回／年 50人】
- ・スポーツを通じた世代間交流事業の実施回数及び参加者数
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒
目標値（2025年度）：1回／年 100人】

(2) いつでも・どこでも・ひとりでもできるスポーツの推進

◆ 市内ウォーキングコースの利用促進

気軽に歩ける市役所ウォーキングコース^{※33}やウォーキング会等、イベントの開催を通して、市内の観光名所等を巡る9コース、全長100kmのにしわきウォーキングコース^{※34}の利用促進を図ります。

【具体的な取組】

- ・にしわきウォーキングコースを利用したウォーキング会の開催

◆ 市内ランニングコースの設定

西脇子午線マラソン大会^{※35}の経緯度周辺コース^{※36}や西脇多可新人高校駅伝競走大会^{※37}の北はりま田園ハーフマラソンコース^{※38}を市民ランニングコースとして設定します。

◆ 市民交流施設^{※39}の利用促進

トレーニングルームの利用や健幸運動教室への参加等、ライフステージやライフスタイルに合わせて気軽に運動が楽しめる市民交流施設の利用促進を図ります。

◆ 日常生活の中でできる運動の推進

身体活動や運動が健康に及ぼす効果についての知識は普及しつつあるものの、実際に行っている市民の割合は低い状態にあります。市民が無理なく日常生活の中で運動を実施できる方法を提供します。

【具体的な取組】

- ・啓発資料の作成及び配布

測定指標

- ・ウォーキング会等への参加者数
【現状値（2019年度）：130人／年 ⇒ 目標値（2025年度）：250人／年】
- ・市内ランニングコースの設定数及び整備数
【現状値（2020年度）：設定なし ⇒ 目標値（2025年度）：5コース】
- ・市民交流施設のうごくスタジオ^{※40}の稼働率
【現状値（2021年度目標）：50% ⇒ 目標値（2025年度）：60%】

(3) 人生 100年時代を幸せに過ごすためのスポーツ活動の推進

◆ 健幸運動教室N i - C o^{※41}の推進

本市は健幸都市「スマートウェルネスシティ^{※42}」を目指しています。フレイル^{※43}や生活習慣病を予防するため、科学的根拠に基づいた、運動プログラムを活用した健幸運動教室への参加を推進します。

◆ おりひめ体操^{※44}の推進

寝たきりや介護予防については、できるだけ早期に、または元気な時から筋力を強くすることが必要なため、本市が専門家と一緒に考えた、おりひめ体操を推進します。

測定指標

- ・健幸運動教室N i - C oへの参加者数
【現状値（2020年度）：200人 ⇒ 目標値（2025年度）：1,200人】
- ・おりひめ体操の参加者数
【現状値（2020年度）：476人 ⇒ 目標値（2023年度）：811人】

【重点目標 1－2】

スポーツ活動への積極的な参加の推進

本市のスポーツ活動を支えている西脇市体育協会、スポーツクラブ21への加入促進や支援を行うとともに、障害者、女性スポーツの推進など誰もが楽しむことができるスポーツ活動への積極的な参加を推進します。

(1) 市民主導型スポーツ活動の推進

◆ スポーツクラブ21への支援

地域のまちづくりにおいて特性があるように、地域のスポーツ活動にも特性があり、それぞれの楽しみ方や関わり方があります。

スポーツクラブ21の地域スポーツへの関わり方を検証し、より良い体制づくりを推進します。また、時代に合わせた運営が行えるよう支援します。

【具体的な取組】

- ・市内8つのスポーツクラブ21の共同運営の検討

◆ 西脇市体育協会への支援

西脇市体育協会と他のスポーツ関係団体との連携や若年層が好む新たなスポーツ分野の加入促進など、西脇市体育協会が行う時代に対応した組織づくりを支援します。

【具体的な取組】

- ・スポーツクラブ21やスポーツ推進委員との連携
- ・若年層が集う市内スポーツ活動団体への加入促進

◆ 西脇市民体育大会における交流大会の開催を検討

市民体育大会について、仲間づくりやスポーツ活動に親しみやすい環境を整えるために、交流や親睦を目的とした大会の開催を検討します。

【具体的な取組】

- ・3世代親睦卓球大会の開催
- ・3世代親睦グラウンド・ゴルフ大会の開催

◆ 出前講座^{※45}の開催やスポーツ用具等の貸出しの推進

気軽に様々なスポーツを体験できるよう、出前講座の推進やスポーツ用具等の貸出しを行います。

【具体的な取組】

- ・スポーツ推進委員^{※46}による出前講座の開催
- ・おじゃビンゴ、グラウンド・ゴルフ、スポーツ吹き矢等の用具の貸出し

測定指標

- ・過去1年間に、週1回以上、スポーツ・レクリエーション活動をしたことがある市民の割合（再掲）
【現状値（2018年度）：25.4% ⇒ 目標値（2025年度）：35.0%】
- ・過去1年間に、スポーツ・レクリエーション活動をしなかった市民の割合（再掲）
【現状値（2018年度）：39.0% ⇒ 目標値（2025年度）：31.0%】
- ・西脇市体育協会への加盟協会数
【現状値（2020年度）：20協会 ⇒ 目標値（2025年度）：22協会】
- ・西脇市民体育大会交流大会の開催回数
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：2回／年】
- ・出前講座におけるスポーツ関連講座開催回数
【現状値（2020年度）：1講座 ⇒ 目標値（2025年度）：5講座】
- ・貸出しできるスポーツ用具の種類
【現状値（2020年度）：6種類 ⇒ 目標値（2025年度）：10種類】

(2) スポーツ活動への参加の推進

◆ 多種多様なスポーツ教室の開催

多くの市民がスポーツ活動に積極的に参加できるよう、種目数の増加や民間事業者等の活用を検討し、市民ニーズに対応したスポーツ教室を開催します。

【具体的な取組】

- ・バスケットボール、スケートボード、ボルダリング教室の開催の検討

◆ 女性が参加しやすいスポーツ活動の推進

託児等、女性が参加しやすい環境整備や啓発に取り組むとともに、大会運営への参画を図るなど女性が活躍できるスポーツ活動を推進します。

【具体的な取組】

- ・託児所の開設や更衣室、シャワールームの設置を検討
- ・家族で参加できるスポーツイベントの開催

◆ 障害者スポーツの振興

障害者が自らの可能性にチャレンジし、仲間との交流が深められるよう、NPO法人をはじめとした民間等との連携の下、障害者スポーツの振興を図ります。また、（公財）兵庫県障害者スポーツ協会^{※47}と連携して、障害者が競技レベルに応じた種目を選択できる仕組みづくりを行います。

【具体的な取組】

- ・ 障害者運動会の開催
- ・ のじぎく障害者スポーツ大会^{※48}への参加推進

◆ ユニバーサルスポーツの推進（再掲）

障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず、全ての人が分け隔てなく、スポーツを楽しみ、スポーツを通じて、互いを理解・尊重する共生社会の実現に向けて、ニュースポーツを利用したユニバーサルスポーツ大会の開催を推進します。

【具体的な取組】

- ・ ボッチャ等のユニバーサルスポーツ大会の開催

測定指標

- ・ スポーツ教室の種目数
【現状値（2020年度）：8種類 ⇒ 目標値（2025年度）：13種類】
- ・ スポーツを楽しむための託児制度導入の検討
【現状値（2020年度）：未検討 ⇒ 目標値（2025年度）：導入】
- ・ 家族で楽しめるスポーツイベントの開催回数
【現状値（2020年度）：未開催 ⇒ 目標値（2025年度）：2回／年】
- ・ 女性がスポーツ活動を楽しむ環境整備
【現状値（2020年度）：未検討 ⇒ 目標値（2025年度）：導入】
- ・ 障害者スポーツイベントの開催回数及び参加者数
【現状値（2019年度）：1回／年 50人／年 ⇒
目標値（2025年度）：2回／年 100人／年】
- ・ のじぎく障害者スポーツ大会への参加者数
【現状値（2019年度）：21人 ⇒ 目標値（2025年度）：40人】

- ・ユニバーサルスポーツ大会の開催回数及び参加者数（再掲）

【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：1回／年 100人】

【重点目標1－3】

子どものスポーツ活動の推進

スポーツは、青少年の心身両面の健全な発達に資するもので、心の豊かさや生きがいを与えてくれるものです。しかしながら、社会環境や生活様式の変化に伴い、子どもの外遊びやスポーツ活動の時間が減少しており、遊びを中心とした主体的な身体活動を生活全体の中で確保していくことが難しくなっています。

国の動向を注視しつつ、学校と地域が連携することによって、子どもたちが従来のスポーツ活動を継続できるような環境整備を研究します。

(1) 子どものスポーツ活動の充実

◆ 多種多様なスポーツ教室の開催（再掲）

子どもたちがスポーツ活動に積極的に参加できるよう、種目数の増加や民間事業者等の活用を検討し、ニーズに対応したスポーツ教室を開催します。

【具体的な取組】

- ・スポーツ教室の開催種目に関する調査
- ・調査結果による、新たなスポーツ教室の開催

◆ スポーツ少年団活動への支援

スポーツ活動を通して、青少年の心身の健全な発達を目的とするスポーツ少年団の支援を行います。

また、少子化など社会情勢の変化に伴い、子どものスポーツ活動への関わり方も変化しています。時代のニーズに合わせた少年団活動を支援するとともに、子どもたちが気軽にスポーツに親しめる環境を整備します。

【具体的な取組】

- ・ジュニアリーダー講習会の開催支援
- ・スポーツ少年団に求められるニーズ調査

測定指標

- ・スポーツ教室の種目数（再掲）

【現状値（2020年度）：8種類 ⇒ 目標値（2025年度）：13種類】

- ・時代のニーズに合わせたスポーツ少年団活動の検討
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：実施】

(2) 学校でのスポーツ活動・運動の充実

◆ 小・中学校におけるスポーツ活動の推進

小・中学校における授業やレクリエーションではスポーツ活動の楽しさを感じ、取り組むきっかけづくりを行うとともに、楽しみながらスポーツに親しめるよう、「いきいき体力づくり」^{※49}を実施します。

◆ クラブ活動、運動部活動における外部指導者制度の推進

外部指導者制度^{※50}を活用し、教員の負担を抑えるとともに、顧問と外部指導者が連携することで人間関係を育てる環境づくりを行います。また、児童生徒の競技力の向上だけでなく、個人の心身の成長を促すことができるよう、従来の学校部活動と変わらないスポーツ活動の環境を整備します。

◆ 学校と地域スポーツ団体との連携の推進

文部科学省による中学校部活動の地域部活動への一部移管の方向性を踏まえ、学校と地域が融合した部活動を展開するとともに、従来のスポーツ活動が継続できるような環境・受入体制の整備について研究して、地域の活性化へ繋がります。

【具体的な取組】

- ・地域の既存スポーツ活動団体との調整

測定指標

- ・クラブ活動、運動部活動における外部指導者の採用件数
【現状値（2020年度）：3件 ⇒ 目標値（2025年度）：10件】
- ・地域スポーツ団体の中学運動部活動受入件数
【現状値（2020年度）：0件 ⇒ 目標値（2025年度）：3件】

【重点目標 1-4】

オリンピックレガシーの創出と継承

本市は東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしてオーストラリア卓球チームの事前合宿を受け入れます。そのために改修した西脇市総合市民センター体育館や卓球を通じた生涯スポーツの推進をオリンピックレガシーとして次世代に継承します。

(1) スポーツレガシー^{※51}の推進

◆ 卓球を通じた生涯スポーツの推進

本市は、東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしてオーストラリア卓球チームの事前合宿を受け入れます。そのためにユニバーサルデザインを採用するとともに、照明設備を国際大会基準へと改修した西脇市総合市民センターを活用し、誰もが気軽に卓球に親しめる環境を整備するとともに、卓球を通じた生涯スポーツを推進します。

【具体的な取組】

- ・健康卓球^{※52}教室や講演会の開催

測定指標

- ・卓球交流イベント・大会の開催回数及び参加者数（再掲）

【現状値（2020年度）：未実施 ⇒

目標値（2025年度）：1回／年 100人】

- ・ユニバーサルスポーツ大会の開催回数及び参加者数（再掲）

【現状値（2020年度）：未実施 ⇒

目標値（2025年度）：1回／年 50人】

2 競技スポーツの振興

【重点目標 2-1】

各種スポーツ大会の開催支援

競技スポーツに励むためのモチベーション^{※53}の一つとして、大きな大会への参加やそこでの活躍があります。西脇市体育協会や（公財）西脇市文化・スポーツ振興財団^{※54}と連携し、大会の開催や参加について支援します。

(1) 各種競技大会の開催支援

◆ 全国規模の大会等の開催支援

西脇子午線マラソン大会や西脇多可新人高校駅伝競走大会など市内での全国規模の大会の開催を支援します。

◆ 各種競技スポーツ大会等の開催支援

西脇市体育協会がスポーツ振興や競技力向上を目的に開催する各種競技スポーツ大会について、（公財）西脇市文化・スポーツ振興財団と連携して支援を行います。

◆ 全国大会をはじめとする各種競技大会参加への支援

本市にゆかりのあるトップアスリートの卵たちの競技力やモチベーションの向上に向け、（公財）西脇市文化・スポーツ振興財団と連携し、各種全国大会等への出場を支援します。

【具体的な取組】

- ・近畿大会以上に出場する個人や団体に助成金を給付

◆ スポーツ表彰制度の推進

継続的なスポーツ活動の発展に向け、スポーツ振興への寄与、スポーツ活動での功績が顕著な者や優秀な成績を残した者をたたえるスポーツにおける表彰制度を継続します。

【具体的な取組】

- ・西脇市スポーツ・文化賞^{※55}、西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞^{※56}」、丸山完二賞^{※57}、体育協会表彰^{※58}の申請受付及び審査

測定指標

・西脇市スポーツ・文化賞、西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞」、丸山完二賞、
体育協会表彰等の継続実施

【現状値（2020年度）：実施済 ⇒ 目標値（2025年度）：継続】

【重点目標2-2】

トップアスリートを活用した競技スポーツ普及活動の推進

トップアスリートのプレーを観戦することで自己意識が高揚し、競技スポーツへの関心が高まります。市民がトップアスリートを直接感じることができるスポーツ教室の開催を支援します。

また、プロの競技者の試合を観戦することは、トップアスリートになる夢を抱く子どもたちに大きな影響を与えます。併せて、市民が「応援」という形でスポーツに携わることによって、スポーツ活動に参加するきっかけづくりともなることからプロリーグの開催を支援します。

(1) トップアスリートによるスポーツ教室の開催支援

◆ トップアスリートによるスポーツ教室の開催支援

トップアスリートのプレーを肌で感じることや経験を通じた指導を受けることは大きな刺激と感動をもたらすとともに、楽しさや継続することの大切さを学び、スポーツ活動への意欲の向上が期待できることから、トップアスリートによるスポーツ教室の開催を支援します。

【具体的な取組】

- ・プロ野球経験者等による少年野球教室の開催
- ・西村卓二氏^{※59}による卓球教室の開催
- ・兵庫デルフィーノ^{※60}によるバレーボール教室の開催

測定指標

・トップアスリートによるスポーツ教室への参加人数

【現状値（2019年度）：400人 ⇒ 目標値（2025年度）：500人】

(2) 各種競技プロリーグの開催支援

◆ 「みる」スポーツの推進

躍動するトップアスリートのプレーを直近に観戦することは日常生活では受けることのない刺激を観戦者に与えます。「応援」という形でスポーツに携わることでスポーツ活動への参加のきっかけづくりとなる「みる」スポーツを推進します。

【具体的な取組】

- ・ Vリーグ兵庫デルフィーノホームゲームの開催支援
- ・ 日本プロ野球さわかみ関西独立リーグ^{※61}神戸三田ブレイバーズ^{※62}ホームゲームの開催支援

測定指標

- ・ プロリーグの試合開催数及び集客数（延べ）

【現状値（2019年度）：5試合 ⇒ 目標値（2025年度）：14試合】

【現状値（2019年度）：600人（延べ） ⇒

目標値（2025年度）：1,000人（延べ）】

3 スポーツの環境整備

【重点目標3-1】

スポーツ施設の整備・充実・有効活用

スポーツ活動を行う上で、スポーツ施設の充実は必要不可欠です。利用方法、利用時間や競技種目に配慮し、既存施設の改修・修繕整備を計画的に行うとともに、多様なニーズに対応するために、新たな施設整備の可能性について検討します。

(1) スポーツ施設の改修・整備

◆ スポーツ施設の改修・整備

西脇市公共施設等総合管理計画^{※63}により、既存体育施設の修繕・改修等を行い、適正化を図りながら継続活用していきます。

また、新たなスポーツ活動へのニーズに対応するため、補助金等の活用や民間との協働による施設整備の可能性を検討します。

【具体的な取組】

- ・公共施設等総合管理計画（社会体育施設）個別施設計画^{※64}の策定（日野体育センター、黒田庄体育センター、天神池スポーツセンター、青年の家）

◆ 各地区のスポーツ拠点整備の推進

市民によるスポーツ活動の推進・拡大を目指し、地域スポーツ活動の活性化の拠点として、地区小・中学校のグラウンド・体育館の活用を推進します。

【具体的な取組】

- ・各地区スポーツクラブ21による活用推進

測定指標

- ・公共施設等総合管理計画個別施設計画の策定済みの社会体育施設数
【現状値（2020年度）：1施設 ⇒ 目標値（2025年度）：5施設】

(2) スポーツ施設の管理運営

◆ スポーツ施設の管理運営

スポーツ施設の管理運営を地域や利用者の自主的活動に委ねるなど、管理運営の弾力化を図るとともに、必要に応じて指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化や利用者サービスの向上を図ります。

【具体的な取組】

- ・地域へ社会体育施設の清掃等を委託

◆ 市民との協働によるスポーツ施設の維持管理

地域活性化を目的とした、持続的なスポーツ環境の確保に向け、受益者負担の観点を踏まえ、利用者の協働によるスポーツ施設の維持管理を推進します。

【具体的な取組】

- ・利用者による社会体育施設の清掃活動やグラウンド整備等の推進

測定指標

- ・市民等と協働管理する社会体育施設等数

【現状値（2020年度）：5施設 ⇒ 目標値（2025年度）：8施設】

(3) スポーツにおける安全の確保と事故の予防

◆ 安全の確保と事故の予防

スポーツ活動中の心肺停止事故に対応できるよう、本市、小・中学校及び社会体育施設に配置しているAED^{※65}の更新を行います。

また、新型コロナウイルスのような感染症については、利用者による感染対策の徹底を促進するとともに、利用施設の消毒を行うなど、感染拡大防止策を講じます。

さらに、AED、新型コロナウイルス^{※66}や熱中症^{※67}等のスポーツ活動中の事故防止についての講習会の開催や受講を推進します。

【具体的な取組】

- ・社会体育施設のAED及びパッドの随時更新
- ・「救急ナイトスクール^{※68}」AED講習会へ参加促進
- ・新型コロナウイルス等感染拡大防止策の徹底
- ・スポーツ活動中の事故防止対策についての講習会の開催

測定指標

- ・スポーツ活動中の事故防止対策についての講習会の開催回数及び参加者数
【現状値（2020年度）：0回 ⇒ 目標値（2025年度）：1回／年】
【現状値（2020年度）：0人 ⇒ 目標値（2025年度）：30人／年】

【重点目標3-2】

スポーツ指導者の育成・確保・活用の推進

スポーツ推進委員は、生涯スポーツを振興する上で、行政と市民を結ぶパイプ役として重要な役割を担っています。また、スポーツ活動をめぐる現状の課題解決について、リーダーとしての役割が期待されることから、スポーツ推進委員の育成を行うとともに更なる資質向上と活用を図ります。

(1) スポーツ推進委員の資質向上・活用

◆ スポーツ推進委員の資質向上

社会情勢等の変化により、スポーツ活動も大きく変化しています。地域のスポーツ活動のキーパーソン^{※69}として期待がかかるスポーツ推進委員について、地域スポーツの支援や指導者としての役割が担えるように（公社）全国スポーツ推進委員連合^{※70}等が開催する研修の受講などを通してリーダーとしての資質の向上を図ります。

◆ スポーツ推進委員によるスポーツ振興自主事業の開催

市民がスポーツ活動に親しむ環境を整備するため、また、働き盛りの年齢層、高齢者、女性や障害者などがスポーツ活動を行うきっかけづくりとして、スポーツ推進委員によるスポーツ振興自主事業を開催します。

【具体的な取組】

- ・ウォーキング会、ハイキングの開催
- ・ポールウォーキング教室の開催

◆ 健幸推進事業の実施

「健幸都市・にしわき」の実現に寄与するため、にしわきウォーキングコースの活用によるウォーキング会の開催やユニバーサルスポーツであるボッチャ等を活用した出前講座や交流イベント等を開催します。

測定指標

- ・（公社）全国スポーツ推進委員連合等が開催する研修会への参加者数
【現状値（2019年度）：40人（延べ人数） ⇒ 目標値（2025年度）：50人（延べ人数）】
- ・障害者スポーツ指導員^{※71}資格取得数
【現状値（2019年度）：2人 ⇒ 目標値（2025年度）：5人】
- ・スポーツ推進委員によるスポーツ振興自主事業への参加者数
【現状値（2019年度）：100人 ⇒ 目標値（2025年度）：200人】

【重点目標3-3】

スポーツ情報の発信等の推進

スポーツイベントの開催情報を市のホームページ^{※72}や広報紙等でお知らせするほか、スポーツ活動に興味のある市民が、スポーツ団体等の活動情報などをいつでもどこでも検索できるよう、市内スポーツ情報全般をWEB^{※73}上に集約し、発信します。

(1) スポーツ情報の収集・発信

◆ スポーツコミュニティサイト^{※74}の構築

スポーツイベント、スポーツ施設の概要、スポーツ活動団体の活動情報などが揃うスポーツコミュニティサイトを構築し、スポーツ活動情報の一元化を図ります。また、スポーツ活動に対するアンケート調査なども行えるよう検討します。

【具体的な取組】

- ・西脇市まるごとスポーツ広場（仮称）の構築

測定指標

- ・西脇市まるごとスポーツ広場（仮称）の構築
【現状値（2020年度）：未構築 ⇒ 目標値（2025年度）：構築】

【重点目標 3－4】

スポーツ活動推進組織の構築

少子高齢化や人口減少に対応し得る、次世代のスポーツ活動推進組織の構築について研究を進めるため、市内スポーツ団体の連携強化を図ります。

また、スポーツ活動を行う上で必要な指導者やイベントスタッフ等「ささえる」スポーツに従事するボランティアの組織化を推進します。

(1) スポーツ関係機関の連携強化

◆ スポーツ関係機関の連携強化

西脇市体育協会、スポーツクラブ21にしわき連絡協議会^{※75}、西脇市スポーツ推進委員を軸とした次世代のスポーツ組織の構築に向けて、地域一体となった研究を進めるため、スポーツ関係機関相互の連携強化を図ります。

【具体的な取組】

- ・西脇市体育協会、スポーツクラブ21にしわき連絡協議会、西脇市スポーツ推進委員による連携会議の開催

◆ スポーツ交流ネットワークの構築

次世代のスポーツ活動の柱になると期待される地域スポーツを中心に、学校、地域やスポーツ関係機関の交流ネットワークの構築について研究します。

【具体的な取組】

- ・全国市町村の取組の研究
- ・スポーツ交流ネットワークの構築に係る会議の開催

◆ 異種競技スポーツ交流大会の開催

異なるスポーツ活動をする市民の相互交流・協力により、連携を強化することで、これからの本市のスポーツ活動をけん引できるよう、異種スポーツ競技交流大会を開催します。

【具体的な取組】

- ・異種競技交流グラウンド・ゴルフ大会の開催

◆ 県・他の市町との連携

人口減少や少子高齢化の進行に対応し、多様なスポーツ活動を確保するため、スポーツ大会の共同開催など、自治体の枠組みを超えた連携事業を実施します。

【具体的な取組】

- ・定住自立圏^{※76}によるスポーツイベントの共同開催

測定指標

- ・市内スポーツ団体の連携による次世代スポーツ組織の構築研究会の開催回数
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：2回／年】
- ・異種スポーツ競技交流スポーツ大会への開催回数
【現状値（2020年度）：未開催 ⇒ 目標値（2025年度）：1回／年】

(2) ボランティアの育成と組織化

◆ スポーツボランティアバンク^{※77}の検討

人口減少等を背景としたスポーツ活動やイベント等のスタッフ不足を解消するため、スポーツボランティアバンクの設立など、ボランティア人材の組織化を検討します。

◆ 「ささえる」スポーツの推進

ボランティアスタッフとして、大会等に関わる「ささえる」スポーツがスポーツ活動への参加であることを啓発するとともに、「ささえる」「みる」ことで「する」スポーツへの移行を促し、生涯スポーツへの参加を推進します。

【具体的な取組】

- ・ワールドマスターズゲームズKANSAI 2021／JAPAN^{※78}の開催に伴うボランティアの推進
- ・本市スポーツイベント開催に伴うボランティアの推進

測定指標

- ・スポーツボランティア講座の開催回数
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：1回／年】
- ・スポーツボランティアバンクの開設及び会員数
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：開設】
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：20人】

第5章 計画の推進体制と進捗管理

1 計画の推進体制

本計画は、教育にとどまらず、健康福祉、まちづくり等の幅広い分野に広がる計画です。この計画の推進には、スポーツに関わる全ての関係者が、それぞれの役割を担いながら連携して取り組むことが必要となります。

関係団体等による協議の場づくりから始め、市民と行政との協働による推進体制を確立します。

(1) 施策の推進体制

スポーツの推進は、行政のあらゆる分野の政策に関わり、総合的に関連付ける必要があります。また、本計画の基本目標達成のため、西脇市自治基本条例に規定する基本原則を踏まえ、市民との協働による取組という認識に立った体制を確立し、推進します。

(2) 連携体制

本計画の目標達成のためには、行政だけでなく、スポーツに取り組む様々な団体・グループ・個人が関わりを持ちながら活動していくことが必要です。施策推進の中心となる市教育委員会スポーツ所管部署を核とし、庁内関係課・国や兵庫県・家庭・地域・学校及び企業やNPO法人・関係団体と連携を図ることができる体制を構築します。

(3) 本計画の周知

施策を効果的に推進するためには、本計画を市民や関係団体等へ周知し、理解いただくことが必要です。市広報紙やホームページへの掲載をはじめとしたあらゆる広報手法を使い、本計画やスポーツ活動の重要性の啓発に努めます。

2 計画の進捗管理

本計画は、計画期間中において、教育に関する事務の点検及び評価により本計画の成果の評価・検証を行いつつ、より効果的で効率的に施策を総合的に推進していきます。また、その時々課題解決のために、計画期間の途中においても必要に応じて見直しを図ります。

西脇市スポーツ推進計画策定会議の概要

1 策定会議開催・審議内容等

(1) 第1回西脇市スポーツ推進計画策定会議

ア 開催日時：令和2年6月30日（火）午後7時30分から

イ 開催場所：西脇市総合市民センター大研修室

ウ 内容

○西脇市スポーツ推進計画の策定について

○策定スケジュールについて

(2) 第2回西脇市スポーツ推進計画策定会議

ア 開催日時：令和2年9月8日（火）午後7時00分から

イ 開催場所：西脇市総合市民センター大研修室

ウ 内容

○西脇市スポーツ推進計画の策定について

・基本理念（案）について

・骨子（案）について

・計画の構成について

(3) 第3回西脇市スポーツ推進計画策定会議

ア 開催日時：令和2年10月9日（金）午後7時00分から

イ 開催場所：西脇市総合市民センター大研修室

ウ 内容

○西脇市スポーツ推進計画の策定について

・基本理念（案）について

・骨子（案）について

・計画の構成及び内容について

(4) 第4回西脇市スポーツ推進計画策定会議

ア 開催日時：令和2年11月24日（火）午後7時15分から

イ 開催場所：西脇市総合市民センター大研修室

ウ 内容

○西脇市スポーツ推進計画の策定について

・計画の内容について

・取組及び指標について

(5) 第5回西脇市スポーツ推進計画策定会議

ア 開催日時：令和3年2月16日（火）午後7時00分から

イ 開催場所：西脇市総合市民センター大研修室

ウ 内容

○西脇市スポーツ推進計画の策定について

- ・西脇市スポーツ推進計画策定に係る市民意見募集（パブリック・コメント）の実施結果について
- ・用語解説について
- ・西脇市スポーツ推進計画策定に係る答申（案）について

2 市民意見提出手続き（パブリック・コメント）

西脇市スポーツ推進計画の策定に向けて、西脇市市民意見提出手続きに関する規則に基づき計画案を広く市民の皆さんに公表し、パブリック・コメントを実施しました。

(1) 計画（案）の公表日

令和2年12月20日（日）～令和3年1月19日（火） 31日間

(2) 閲覧場所

ア 西脇市教育委員会生涯学習課（西脇市総合市民センター）

イ 情報公開コーナー（市役所2階）

ウ 図書館（茜が丘複合施設Miraie内）

(3) 提出意見

0件

3 西脇市スポーツ推進計画策定会議条例

(設置)

第1条 スポーツ推進計画（以下「推進計画」という。）の策定及び推進に関する事項について調査審議するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、西脇市スポーツ推進計画策定会議（以下「策定会議」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 策定会議は、西脇市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じて、次に掲げる事項を調査審議する。

- (1) 推進計画の策定に関すること。
- (2) 推進計画に関する施策の推進に関すること。
- (3) その他推進計画に関し教育委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 策定会議は、委員12人以内で組織する。

(委員)

第4条 委員は、次に掲げる者のうちから、必要の都度、教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 各種団体を代表する者
- (3) 公募による市民
- (4) 関係行政機関の職員
- (5) その他教育委員会が特に必要と認める者

2 委員は、当該諮問に係る審議が終了したときは、解嘱されるものとする。

(会長及び副会長)

第5条 策定会議に、会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、策定会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

4 会長及び副会長にともに事故があるとき又は会長及び副会長がともに欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員が、会長の職務を代理する。

(会議)

第6条 策定会議の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 策定会議は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 策定会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(部会)

第7条 策定会議に、その所掌事務を分掌させるために、部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員は、会長が指名する。

3 部会に、部会長を置き、部会に属する委員のうちから、会長が指名する。

4 部会長は、部会の事務を掌理する。

5 部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、部会に属する委員のうちから、あらかじめ部会長の指名する者が、その職務を代理する。

6 部会の会議については、前条の規定を準用する。

(意見の聴取等)

第8条 会長及び部会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴き、又は委員以外の者から資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第9条 策定会議の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(西脇市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 西脇市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(平成17年西脇市条例第45号)の一部を次のように改正する。

別表中

「

にしわき経緯度地球科学館運営委員会委員	日額	7,400	行政職給料表適用職員相当額
---------------------	----	-------	---------------

を

」

「

にしわき経緯度地球科学館運営委員会委員	日額	7,400	行政職給料表適用職員相当額
スポーツ推進計画策定会議委員	日額	7,400	行政職給料表適用職員相当額

に

」

改める。

4 策定会議委員名簿

役職	氏名	所属	委員
会長	森田啓之	兵庫教育大学大学院 生活・健康・情報系教育コース 教授	学識経験のある者
副会長	森脇登志子	西脇市スポーツ推進委員	各種団体を代表する者
	生田弘之	西脇市体育協会	
	藤原健二	西脇市体育協会	
	小西池みゆき	西脇市スポーツ推進委員	
	青山剛	スポーツクラブ21にしわき連絡協議会	
	坂本修三	西脇市老人クラブ連合会	
	森一男	西脇市身体障害者福祉協会	
	藤浦福己		公募による市民
	松本京子		
	和田拓也	小学校教員	関係行政機関の職員
	竹内誠	中学校教員	

た ～ 0 3 7
令和 2 年 6 月 30 日

西脇市スポーツ推進計画策定会議会長 様

西脇市教育委員会

西脇市スポーツ推進計画の策定について（諮問）

西脇市スポーツ推進計画の策定に当たり、西脇市スポーツ推進計画策定会議条例第 2 条第 1 項に定めるとおり貴策定会議に諮問します。

記

本市では、平成 23 年度に「身体・心が元気なスポーツ文化のまち西脇」を基本理念に、西脇市生涯スポーツ振興基本計画を策定しました。

本計画では、スポーツが市民の日常生活に活力と潤いをもたらし、豊かな人間関係の醸成や、地域社会の活性化につながるよう取組がなされ、100kmウォーキングコースの設定や、卓球を通じた生涯スポーツの推進などの取組を行ってまいりました。

本計画は令和 2 年度までとなっており、令和 3 年度から 5 年間を見据えた新たな計画の策定の時期を迎えております。

技術の進歩や少子高齢化など、目まぐるしく変化する状況の中、人生 100 年時代を見据え、スポーツを通じてすべての市民が心身共に健康で豊かな生活が送れ、健康寿命の増進が図れるよう、調査審議していただくため、西脇市スポーツ推進計画策定会議の意見を求めます。

令和3年2月16日

西脇市教育委員会 御中

西脇市スポーツ推進計画策定会議
会長 森田 啓之

西脇市スポーツ推進計画の策定について（答申）

令和2年6月30日付け た～ 037で意見を求められた諮問事項のうち西脇市スポーツ推進計画の策定について、西脇市スポーツ推進計画策定会議条例に基づき調査審議した結果、別添「西脇市スポーツ推進計画（案）」のとおり答申をいたします。

なお、下記に留意し計画を推進されますようお願いいたします。

記

- 1 西脇市スポーツ推進計画の推進に当たっては、市民に十分な周知を図ること。
- 2 西脇市スポーツ推進計画に基づき、各種事業を推進するため、計画の実行、検証を適切に行うこと。

用語解説【50音順】

【ア行】

No.	用語	ページ
※49	いきいき体力づくり 市内小学5年生から中学3年生までで実施している全8種目の運動能力調査	25
※4	一億総スポーツ社会の実現 国の第2期スポーツ推進計画でスポーツを「する」「見る」「ささえる」といった多様な形での「スポーツ参画人口」の拡大を目指しているもので、その結果、人々がスポーツの力で人生を楽しく健康で生き生きとしたものとし、活力ある社会と絆の強い世界を創ることを目標としている。	1
※73	WEB 「ワールドワイドウェブ」の略。インターネット上に分散したハイパーテキスト形式の情報を検索するシステム	33
※40	うごくスタジオ 市民交流施設にある健康教室など体を動かすことを目的に貸し出される諸室	20
※65	AED 自動体外式除細動器。心停止（必ずしも心静止ではない。）の際に、機器が自動的に心電図の解析を行い、心室細動を検出した際は除細動を行う医療機器	31
※44	おりひめ体操 足腰の筋力アップと口腔の健康を保つために、医師や歯科医師をはじめ、多くの専門家とともに考案した西脇市オリジナルの体操	20
※11	オリンピックレガシー 東京2020オリンピック・パラリンピック後に残る有形無形のレガシー、すなわち「社会的遺産」（ソーシャル・キャピタル）・文化的財・環境財のこと。	1

【カ行】

※50	外部指導者 中学校・高等学校の部活動において、顧問の教諭と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う者	25
※69	キーパーソン 何かを決定して行動する時、意思決定などに強い影響力を持つ人物	32
※38	北はりま田園ハーフマラソンコース 毎年2月3週目に開催される西脇多可新人高校駅伝競走大会のコースで、西脇アピカから多可町ベルディーホールを往復する日本陸連公認ハーフマラソンコース	19
※29	基本理念 組織がその根本に据える理念や目標、思想のこと。	14
※68	救急ナイトスクール 平成12（2000）年から医師会等からなる実行委員会が開催している、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使用方法を学ぶ講習会	31
※26	共生社会 誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会	13
※36	経緯度周辺コース 毎年12月2週目に開催される西脇子午線マラソン大会のコースで、西脇市日本へそ公園周辺の日本陸連公認ハーフマラソンコース	19
※41	健幸運動教室Ni-Co フレイルや生活習慣病を予防するため、科学的根拠に基づいた運動プログラムを活用した運動教室	20
※28	健康寿命 日常的・継続的な医療・介護に依存しないで、自分の心身で生命維持し、自立した生活ができる期間のこと。男性72.14歳、女性74.79歳（平成28（2016）年：令和2年版厚生労働書）	13

※52	健康卓球 卓球で日本を元気にする会が提案する卓球の楽しみ方で、老年医学・整形外科の専門家や卓球選手と協働し、高齢者や身体に障害のある人にも有効な卓球のプレー方法	26
※23	健幸都市・にしわき 少子高齢化が進む中、誰もが住み慣れた地域において、いつまでも健やかで幸せに暮らすことができる都市像	6
※70	(公社) 全国スポーツ推進委員連合 体育指導委員の全国組織として、昭和35（1960）年に全国体育指導委員協議会が結成。昭和50（1975）年9月27日に社団法人の許可を受けた全国体育指導委員連合を設立。その後、平成23（2011）年8月の「スポーツ基本法」施行による体育指導員から「スポーツ推進委員」への名称変更とともに、公益法人改革に伴う「公益社団法人」への移行により、平成24（2012）年4月1日、「公益社団法人全国スポーツ推進委員連合」として設立	32
※54	(公財) 西脇市文化・スポーツ振興財団 スポーツと芸術文化を通じた市民文化の創造を目的とした、西脇市岡之山美術館、西脇市天神池スポーツセンター、西脇市立音楽ホール、西脇市立青年の家、西脇市にしわき経緯度地球科学館等を管理運営する財団法人	27
※47	(公財) 兵庫県障害者スポーツ協会 障害者のスポーツ活動を通じた健康の維持増進と、明るく強固な自立の精神を養うことを支援し、障害者の社会参加の促進と福祉の増進に寄与することを目的として、兵庫県の障害者スポーツの推進に取り組む財団法人	23
※62	神戸三田レイバース 日本のプロ野球独立リーグの球団で、本拠地は兵庫県三田市。令和2（2020）年までの名称は兵庫ブルーサンダーズで、プロ野球独立リーグ・旧関西独立リーグに平成23（2011）年より参入。平成25（2013）年シーズン終了後に関西独立リーグを脱退し、平成26（2014）年からは、06BULLSとともに設立したさわかみ関西独立リーグに加盟している。	29
※64	個別施設計画 インフラの戦略的な維持管理・更新等を推進するため策定された、「インフラ長寿命化基本計画」等に基づき、各地方公共団体等が策定する計画。各施設に必要な機能を維持するため中長期にわたる整備の内容や時期、費用等を具体的に表した計画で、限られた財源の中で施設を長寿命化しながら維持管理・更新コストの縮減・平準化を図るなど、戦略的に施設整備を進めるもの。	30

【サ行】

※61	さわかみ関西独立リーグ 近畿地方を中心に活動するプロ野球独立リーグ	29
※25	身体活動 安静にしている状態より多くのエネルギーを消費する全ての動作のこと。	11
※39	市民交流施設 「つながり」をテーマに、文化芸術活動や健康増進活動など幅広いニーズに応えることができる、地域交流・健康づくりの拠点	19
※33	市役所ウオーキングコース 令和3（2021）年度に開庁した西脇市庁舎、市民交流施設の外周に施されたウオーキングコース	19
※71	障害者スポーツ指導員 スポーツを通して、障害を持つ人たちに身体を動かすことの楽しさを伝え、身体能力の向上、さらにスポーツ技術の上達を目指して指導するアドバイザー	33
※66	新型コロナウイルス 令和元（2019）年に、人に感染する「コロナウイルス」として新たに見つかった、「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）」による感染症です。この感染症を「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」という。	31
※27	人生 100 年時代 多くの人が 100年の人生を生きることが当たり前になる時代が到来するという。生涯にわたる学習の重要性が高まり、全ての人が元気に活躍し続けられる社会の実現が期待される。	13

※3	スポーツ基本計画 スポーツ基本法（平成23（2011）年法律第78号）の理念を具体化し、我が国のスポーツ施策の具体的な方向性を示すものとして、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針として位置付けられる。10年間程度を見通した基本方針を定めるとともに、平成24年度から概ね5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策が体系化されている。	—
※1	スポーツ基本法 日本におけるスポーツに関する施策の基本事項を定めた法律で、スポーツ振興法を改正し、平成23（2011）年6月24日に公布、同年8月24日に施行	—
※17	スポーツクラブ21 兵庫県民が21世紀に向けて、豊かなスポーツライフを実現し、スポーツを通じた地域コミュニティづくりを進めるために、全県下の小学校区に地域スポーツクラブを設置。「だれもが、いつでも、身近なところで」スポーツができることを目指した地域住民の自発的・主体的運営によるスポーツクラブ	5
※75	スポーツクラブ21にしわき連絡協議会 西脇市にある8つのスポーツクラブによる連絡協議会	34
※74	スポーツコミュニティサイト チーム紹介や活動内容等を登録し、公開することで、一緒にスポーツを楽しめる人を探したりできるとともに、スポーツに対するコミュニケーションの場を設けることで、スポーツ活動への参加機会を増やし、スポーツとライフスタイルの活性化を目指す、インターネット上のサイト	33
※46	スポーツ推進委員 当該市町村のスポーツ推進のために、教育委員会規則の定めるところにより、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整並びに、住民に対する、スポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行う非常勤職員	21
※2	スポーツ庁 スポーツ振興、その他スポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを目的として、平成27（2015）年10月1日に設置された文部科学省の外局	—
※77	スポーツボランティアバンク 地域社会やスポーツ団体・クラブ、各種スポーツイベントなどにおいて、個人の自由意志に基づき、その技能や時間などを進んで提供し、社会に貢献する活動	35
※51	スポーツレガシー 東京2020オリンピック・パラリンピックがもたらす、スポーツについての社会的遺産	26
※42	スマートウエルネスシティ 住み慣れた地域でいつまでも健やかで幸せに暮らせる健幸都市	20
※5	「する」「みる」「ささえる」スポーツ 「する」：スポーツを実際に「する人」 「みる」：トップレベルの競技大会やプロスポーツの観戦など、スポーツを「観る人」 「ささえる」：指導者やスポーツボランティアといったスポーツを「支える（育てる）人」 文部科学省のスポーツ立国戦略で使用されている。	1
※18	成長戦略フォローアップ 国の成長戦略を議論する未来投資会議において、令和2（2020）年度策定の成長戦略に基づく具体的な行動指標	6

【夕行】

※19	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 日本の人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を実現するために、令和2（2020）年度を初年度とする今後5か年の目標や施策の方向性等を提示	6
※6	第2次西脇市総合計画 平成31（2019）年度を始期とした、西脇市の将来を見据えた総合的・計画的なまちづくりの指針	1

※58	体育協会表彰 西脇市体育協会から、その年（9月1日から8月31日までの期間）におけるスポーツ大会等の成績が特に顕著であると認められた市民や長年の功績に対して贈られる賞	27
※12	地方スポーツ推進計画 スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即して定められたスポーツの推進に関する計画で、スポーツ基本法（平成23（2011）年法律第78号）第10条で定められている。	2
※76	定住自立圏 地方圏において、三大都市圏と並ぶ人口定住の受け皿として形成される圏域で、定住自立圏の形成に当たっては、医療や買い物など住民生活に必要な機能について一定の集積があり、周辺の市町村の住民もその機能を活用しているような都市が「中心市」となり、圏域全体において中心的な役割を担うことが想定されている。	34
※45	出前講座 生涯学習やまちづくり活動を支援するため、税や健康づくりなどを市の職員などが出向いて詳しく説明する講座	21
※9	東京2020オリンピック・パラリンピック オリンピックは、令和3（2021）年7月23日から8月8日までの17日間、パラリンピックは、令和3（2021）年8月24日から9月5日までの13日間、東京都で開催される予定の国際競技大会。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行を受けて、令和2（2020）年夏の開催日程から1年延期となった。東京での五輪開催は、昭和39（1964）年以来57年ぶりとなる。	1

【ナ行】

※20	内閣官房まち・ひと・しごと創生本部 日本の内閣に設置されている組織である。平成26（2014）年9月3日に発足した第2次安倍改造内閣の同日の閣議決定により設置され、同年11月28日にまち・ひと・しごと創生法が公布・施行したことにより、同年12月2日からは内閣に設置される法定の組織となった。 同本部は、日本の急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけ、首都圏への人口集中（東京一極集中）を是正し、地域におけるワーク・ライフ・バランスを確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し実施	6
※21	内閣府地方創生推進事務局 地方創生に関する法律・予算・制度の運用を掌る内閣府の特別の機関	6
※59	西村卓二 西脇市（旧黒田庄町）出身の卓球指導者。現在、東京富士大学の教授で同大学の卓球部を指導。女子日本代表監督を平成13（2001）年から務め、平成15（2003）年の世界卓球選手権ドーハ大会では銅メダルを日本にもたらした。	28
※34	にしわきウォーキングコース 西脇市スポーツ推進委員により西脇市の8つの地区に設けられた9コースで全長は100km。歴史や観光地を巡りながら楽しめるウォーキングコース	19
※14	西脇市教育振興基本計画「教育創造にしわきプラン」 豊かにたくましく生き、未来を開拓する多様な人材を育成するとともに、生涯活躍社会・共生社会を実現するために策定された、第3期西脇市教育振興基本計画	2
※63	西脇市公共施設等総合管理計画 自治体の保有する公共施設（インフラを含む。）の全てを横断的にマネジメントしていくための計画	30
※35	西脇子午線マラソン大会 日本へそ公園をゴールとする、日本陸連公認ハーフマラソンコースで開催される、マラソン大会。令和2（2020）年度には43回目（新型コロナウイルス感染拡大防止により本大会は中止し代替えにオンライン大会を実施）を迎え、毎年2,000人を越すランナーが全国から集結する。	19
※13	西脇市生涯スポーツ振興計画 平成23（2011）年に策定した西脇市のスポーツ推進に関する計画	2
※56	西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞」 平成14（2002）年度から毎年、スポーツや文化などの分野で優秀な成績を収めた市内の小中学生に贈呈するスポーツ・文化賞	27

※55	西脇市スポーツ・文化賞 スポーツや文化活動において顕著な成績を収めた市民に贈呈するスポーツ・文化賞	27
※24	西脇市スポーツ少年団 創設 50 年以上の歴史あるスポーツ団体で令和 2（2020）年度末現在は 6 種目・7 団体、180 人以上が所属	11
※16	西脇市体育協会 昭和 28（1953）年 12 月に発足。令和 3（2021）年度現在は 20 競技協会が加盟	5
※37	西脇多可新人高校駅伝競走大会 毎年 2 月の 3 週目に、西脇市から多可町の日本陸連公認ハーフマラソンコースで開催される全国規模の高校新人駅伝で、全国から 130 を超えるチームが参加	19
※31	ニュースポーツ 一般に、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環として気軽に楽しむことを主眼とした身体運動を指す。例：グラウンド・ゴルフ、キンボール、スポーツチャンバラなど。	18
※67	熱中症 高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れ、体内の調整機能が壊れるなどして発症する障害	31
※48	のじぎく障害者スポーツ大会 令和 3（2021）年には 15 回を数え、兵庫県内の障害者が、スポーツを通じて体力の維持増進と社会参加意欲の高揚を図るとともに、県民の障害者に対する理解と認識を深め、交流を広げることを目的として開催されるスポーツ大会	23

【ハ行】

※15	兵庫県スポーツ推進計画 兵庫県におけるスポーツ施策の成果と課題及び国の動向も踏まえ、平成 24（2012）年度に、次の 10 年間のスポーツ施策の基本的な考え方や具体的な方向性を示すために定められた計画	2
※60	兵庫デルフィーン 男子バレーボール V リーグ 2020-2021 DIVISION 2 に所属のチームで、西脇市がセカンドホーム。年間 2 試合程度の公式戦が西脇市総合市民センター体育館で開催される。	28
※43	フレイル 加齢に伴い身体の予備能力が低下し、健康障害を起こしやすくなった状態を示している。介護が必要になる前段階	20
※72	ホームページ ウェブブラウザを起動した時に表示されるウェブページなどの画面（ページ）	33
※10	ホストタウン 地域の活性化等に向け、地域住民と、令和 2（2020）年オリンピック・パラリンピック東京大会に参加する国・地域の住民等が、スポーツ、文化、経済などを通じて交流を進める取組に参加する自治体	1
※32	ポッチャ ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ 6 球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う。	18

【マ行】

※22	まち・ひと・しごと創生基本方針 2019 人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指す。	6
※57	丸山完二賞 播但地区中学校選抜優勝野球大会の優勝チームに西脇市出身でヤクルトスワローズの選手・コーチとして活躍された丸山完二氏にちなんで丸山完二賞が贈呈される。	27
※53	モチベーション 物事を行うにあたっての、意欲・やる気	27

【ヤ行】

※30	ユニバーサルスポーツ 障害の有無に関係なく、一緒に参加し活動できるスポーツ	18
-----	---	----

【ラ行】

※8	ライフスタイル 生活様式：ある社会あるいは集団の成員が共通している生活の営み方、特に人間の基本的活動である生産（仕事）、消費（余暇）、再生産（家族生活）の本質と関係について共有している認識と行動の枠組みのこと。	1
※7	ライフステージ 人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階。家族については新婚期・育児期・教育期・子独立期・老夫婦期などに分けられる。	1

【ワ行】

※78	ワールドマスターズゲームズKANSAI 2021/JAPAN 昭和60（1985）年に第1回カナダ・トロント大会が開催され、令和3（2021）年の関西大会で10回目を迎える国際大会（新型コロナウイルス感染拡大防止により翌年に延期）。「スポーツ・フォー・ライフ（人生を豊かにするスポーツ）」が理念。一人ひとりの挑戦と多様な交流の和をつなげ、地域の独自性や日本の伝統・文化を世界に発信し、次世代に夢をおくる生涯スポーツの祭典	35
-----	--	----

用語解説【ページ順】

No.	用語	ページ
※1	スポーツ基本法 日本におけるスポーツに関する施策の基本事項を定めた法律で、スポーツ振興法を改正し、平成23（2011）年6月24日に公布、同年8月24日に施行	—
※2	スポーツ庁 スポーツ振興、その他スポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを目的として平成27（2015）年10月1日に設置された文部科学省の外局	—
※3	スポーツ基本計画 スポーツ基本法（平成23（2011）年法律第78号）の理念を具体化し、我が国のスポーツ施策の具体的な方向性を示すものとして、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針として位置付けられる。10年間程度を見通した基本方針を定めるとともに、平成24年度から概ね5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策が体系化されている。	—
※4	一億総スポーツ社会の実現 国の第2期スポーツ推進計画でスポーツを「する」「見る」「ささえる」といった多様な形での「スポーツ参画人口」の拡大を目指しているもので、その結果、人々がスポーツの力で人生を楽しく健康で生き生きとしたものとし、活力ある社会と絆の強い世界を創ることを目標としている。	1
※5	「する」「みる」「ささえる」スポーツ 「する」：スポーツを実際に「する人」 「みる」：トップレベルの競技大会やプロスポーツの観戦など、スポーツを「観る人」 「ささえる」：指導者やスポーツボランティアといったスポーツを「支える（育てる）人」 文部科学省のスポーツ立国戦略で使用されている。	1
※6	第2次西脇市総合計画 平成31（2019）年度を始期とした、西脇市の将来を見据えた総合的・計画的なまちづくりの指針	1
※7	ライフステージ 人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階。家族については新婚期・育児期・教育期・子独立期・老夫婦期などに分けられる。	1
※8	ライフスタイル 生活様式：ある社会あるいは集団の成員が共通している生活の営み方、特に人間の基本的活動である生産（仕事）、消費（余暇）、再生産（家族生活）の本質と関係について共有している認識と行動の枠組みのこと。	1
※9	東京2020オリンピック・パラリンピック オリンピックは、令和3（2021）年7月23日から8月8日までの17日間、パラリンピックは、令和3（2021）年8月24日から9月5日までの13日間、東京都で開催される予定の国際競技大会。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行を受けて、令和2（2020）年夏の開催日程から1年延期となった。東京での五輪開催は、昭和39（1964）年以来57年ぶりとなる。	1
※10	ホストタウン 地域の活性化等に向け、地域住民と、令和2（2020）年オリンピック・パラリンピック東京大会に参加する国・地域の住民等が、スポーツ、文化、経済などを通じて交流を進める取組に参加する自治体	1
※11	オリンピックレガシー 東京2020オリンピック・パラリンピック後に残る有形無形のレガシー、すなわち「社会的遺産」（ソーシャル・キャピタル）・文化的財・環境財のこと。	1
※12	地方スポーツ推進計画 スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即して定められたスポーツの推進に関する計画で、スポーツ基本法（平成23（2011）年法律第78号）第10条で定められている。	2
※13	西脇市生涯スポーツ振興計画 平成23（2011）年に策定した西脇市のスポーツ推進に関する計画	2
※14	西脇市教育振興基本計画「教育創造にしわきプラン」 豊かにたくましく生き、未来を開拓する多様な人材を育成するとともに、生涯活躍社会・共生社会を実現するために策定された、第3期西脇市教育振興基本計画	2

※15	兵庫県スポーツ推進計画 兵庫県におけるスポーツ施策の成果と課題及び国の動向も踏まえ、平成24（2012）年度に次の10年間のスポーツ施策の基本的な考え方や具体的な方向性を示すために定められた計画	2
※16	西脇市体育協会 昭和28（1953）年12月に発足。令和3（2021）年度現在は20競技協会が加盟	5
※17	スポーツクラブ21 兵庫県民が21世紀に向けて、豊かなスポーツライフを実現し、スポーツを通じた地域コミュニティづくりを進めるために、全県下の小学校区に地域スポーツクラブを設置。「だれもが、いつでも、身近なところで」スポーツができることを目指した地域住民の自発的・主体的運営によるスポーツクラブ	5
※18	成長戦略フォローアップ 国の成長戦略を議論する未来投資会議において、令和2（2020）年度策定の成長戦略に基づく具体的な行動指標	6
※19	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 日本の人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を実現するために、令和2（2020）年度を初年度とする今後5か年の目標や施策の方向性等を提示	6
※20	内閣官房まち・ひと・しごと創生本部 日本の内閣に設置されている組織である。平成26（2014）年9月3日に発足した第2次安倍改造内閣の同日の閣議決定により設置され、同年11月28日にまち・ひと・しごと創生法が公布・施行したことにより、同年12月2日からは内閣に設置される法定の組織となった。 同本部は、日本の急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけ、首都圏への人口集中（東京一極集中）を是正し、地域におけるワーク・ライフ・バランスを確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し実施	6
※21	内閣府地方創生推進事務局 地方創生に関する法律・予算・制度の運用を掌る内閣府の特別の機関	6
※22	まち・ひと・しごと創生基本方針2019 人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指す。	6
※23	健幸都市・にしわき 少子高齢化が進む中、誰もが住み慣れた地域において、いつまでも健やかで幸せに暮らすことができる都市像	6
※24	西脇市スポーツ少年団 創設50年以上の歴史あるスポーツ団体で、令和2（2020）年度末現在は6種目・7団体、180人以上が所属	11
※25	身体活動 安静にしている状態より多くのエネルギーを消費する全ての動作のこと。	11
※26	共生社会 誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会	13
※27	人生100年時代 多くの人々が100年の人生を生きることが当たり前になる時代が到来するという。生涯にわたる学習の重要性が高まり、全ての人が元気に活躍し続けられる社会の実現が期待される。	13
※28	健康寿命 日常的・継続的な医療・介護に依存しないで、自分の心身で生命維持し、自立した生活ができる期間のこと。男性72.14歳、女性74.79歳（平成28（2016）年：令和2（2020）年版厚生労働白書）	13
※29	基本理念 組織がその根本に据える理念や目標、思想のこと。	14
※30	ユニバーサルスポーツ 障害の有無に関係なく、一緒に参加し活動できるスポーツ	18

※31	ニュースポーツ 一般に、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環として気軽に楽しむことを主眼とした身体運動を指す。例：グラウンド・ゴルフ、キンボール、スポーツチャンバラなど。	18
※32	ボッチャ ヨーロッパで生まれた、重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う。	18
※33	市役所ウオーキングコース 令和3（2021）年度に開庁した西脇市庁舎、市民交流施設の外周に施されたウオーキングコース	19
※34	にしわきウオーキングコース 西脇市スポーツ推進委員により西脇市の8つの地区に設けられた9コースで全長は100km。歴史や観光地を巡りながら楽しめるウオーキングコース	19
※35	西脇子午線マラソン大会 日本へそ公園をゴールとする、日本陸連公認ハーフマラソンコースで開催される、マラソン大会。令和2（2020）年度には43回目（新型コロナウイルス感染拡大防止により本大会は中止し代替えにオンライン大会を実施）を迎え、毎年2,000人を越すランナーが全国から集結する。	19
※36	経緯度周辺コース 毎年12月2週目に開催される西脇子午線マラソン大会のコースで、西脇市日本へそ公園周辺の日本陸連公認ハーフマラソンコース	19
※37	西脇多可新人高校駅伝競走大会 毎年2月の3週目に、西脇市と多可町で開催される全国規模の高校新人駅伝で、全国から130を超えるチームが参加	19
※38	北はりま田園ハーフマラソンコース 毎年2月3週目に開催される西脇多可新人高校駅伝競走大会のコースで、西脇アピカから多可町ベルディーホールを往復する日本陸連公認ハーフマラソンコース	19
※39	市民交流施設 「つながり」をテーマに、文化芸術活動や健康増進活動など幅広いニーズに応えることができる、地域交流・健康づくりの拠点	19
※40	うごくスタジオ 市民交流施設にある健康教室など体を動かすことを目的に貸し出される諸室	20
※41	健幸運動教室N i - C o フレイルや生活習慣病を予防するため、科学的根拠に基づいた運動プログラムを活用した運動教室	20
※42	スマートウエルネスシティ 住み慣れた地域でいつまでも健やかで幸せに暮らせる健幸都市	20
※43	フレイル 加齢に伴い身体の予備能力が低下し、健康障害を起こしやすくなった状態を示している。介護が必要になる前段階	20
※44	おりひめ体操 足腰の筋力アップと口腔の健康を保つために、医師や歯科医師をはじめ、多くの専門家とともに考案した西脇市オリジナルの体操	20
※45	出前講座 生涯学習やまちづくりやまちづくり活動を支援するため、税や健康づくりなどを市の職員などが出向いて詳しく説明する講座	21
※46	スポーツ推進委員 当該市町村のスポーツ推進のために、教育委員会規則の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに、住民に対する、スポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導、助言を行う非常勤職員	21

※47	(公財) 兵庫県障害者スポーツ協会 障害者のスポーツ活動を通じた健康の維持増進と、明るく強固な自立の精神を養うことを支援し、障害者の社会参加の促進と福祉の増進に寄与することを目的として、兵庫県の障害者スポーツの推進に取り組む財団法人	23
※48	のじぎく障害者スポーツ大会 令和3(2021)年には15回を数え、兵庫県内の障害者が、スポーツを通じて体力の維持増進と社会参加意欲の高揚を図るとともに、県民の障害者に対する理解と認識を深め、交流を広げることを目的として開催されるスポーツ大会	23
※49	いきいき体力づくり 市内小学5年生から中学3年生までで実施している全8種目の運動能力調査	25
※50	外部指導者 中学校・高等学校の部活動において、顧問の教諭と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う者	25
※51	スポーツレガシー 東京2020オリンピック・パラリンピックがもたらす、スポーツについての社会的遺産	26
※52	健康卓球 卓球で日本を元気にする会が提案する卓球の楽しみ方で、老年医学・整形外科の専門家や卓球選手と協働し、高齢者や身体に障害のある人にも有効な卓球のプレー方法	26
※53	モチベーション 物事を行うにあたっての、意欲・やる気	27
※54	(公財) 西脇市文化・スポーツ振興財団 スポーツと芸術文化を通じた市民文化の創造を目的とした、西脇市岡之山美術館、西脇市天神池スポーツセンター、西脇市立音楽ホール、西脇市立青年の家、西脇市にしわき経緯度地球科学館等を管理運営する財団法人	27
※55	西脇市スポーツ・文化賞 スポーツや文化活動において顕著な成績を収めた市民に贈呈するスポーツ・文化賞	27
※56	西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞」 平成14(2002)年度から毎年、スポーツや文化などの分野で優秀な成績を収めた市内の小中学生に贈呈するスポーツ・文化賞	27
※57	丸山完二賞 播但地区中学校選抜優勝野球大会の優勝チームに西脇市出身でヤクルトスワローズの選手・コーチとして活躍された丸山完二氏にちなんだ丸山完二賞が贈呈される。	27
※58	体育協会表彰 西脇市体育協会から、その年(9月1日から8月31日までの期間)におけるスポーツ大会等の成績が特に顕著であると認められた市民や長年の功績に対して贈られる賞	27
※59	西村卓二 西脇市(旧黒田庄町)出身の卓球指導者。現在、東京富士大学の教授で同大学の卓球部を指導。女子日本代表監督を平成13(2001)年から務め、平成15(2003)年の世界卓球選手権ドーハ大会では銅メダルを日本にもたらした。	28
※60	兵庫デルフィーノ 男子バレーボールVリーグ2020-2021 DIVISION 2に所属のチームで、西脇市がセカンドホーム。年間2試合程度の公式戦が西脇市総合市民センター体育館で開催される。	28
※61	さわかみ関西独立リーグ 近畿地方を中心に活動するプロ野球独立リーグ	29
※62	神戸三田ブレイバース 日本のプロ野球独立リーグの球団で、本拠地は兵庫県三田市。令和2(2020)年までの名称は兵庫ブルーサンダーズで、プロ野球独立リーグ・旧関西独立リーグに平成23(2011)年より参入。平成25(2013)年シーズン終了後に関西独立リーグを脱退し、平成26(2014)年からは、06BULLSとともに設立したさわかみ関西独立リーグに加盟している。	29
※63	西脇市公共施設等総合管理計画 自治体の保有する公共施設(インフラを含む。)の全てを横断的にマネジメントしていくための計画	30

※64	個別施設計画 インフラの戦略的な維持管理・更新等を推進するため策定された、「インフラ長寿命化基本計画」等に基づき、各地方公共団体等が策定する計画。各施設に必要な機能を維持するため中長期にわたる整備の内容や時期、費用等を具体的に表した計画で、限られた財源の中で施設を長寿命化しながら維持管理・更新コストの縮減・平準化を図るなど、戦略的に施設整備を進めるもの。	30
※65	A E D 自動体外式除細動器。心停止（必ずしも心静止ではない。）の際に、機器が自動的に心電図の解析を行い、心室細動を検出した際は除細動を行う医療機器	31
※66	新型コロナウイルス 令和元（2019）年に人に感染する、「コロナウイルス」として新たに見つかった、「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）」による感染症です。この感染症を「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」という。	31
※67	熱中症 高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れ、体内の調整機能が壊れるなどして発症する障害	31
※68	救急ナイトスクール 平成12（2000）年から医師会等からなる実行委員会が開催している、心肺蘇生法やA E D（自動体外式除細動器）の使用方法を学ぶ講習会	31
※69	キーパーソン 何かを決定して行動する時、意思決定などに強い影響力を持つ人物	32
※70	（公社）全国スポーツ推進委員連合 体育指導委員の全国組織として、昭和35（1960）年に全国体育指導委員協議会が結成。昭和50（1975）年9月27日に社団法人の許可を受けた全国体育指導委員連合を設立。その後、平成23（2011）年8月の「スポーツ基本法」施行による体育指導員から「スポーツ推進委員」への名称変更とともに、公益法人改革に伴う「公益社団法人」への移行により、平成24（2012）年4月1日、「公益社団法人全国スポーツ推進委員連合」として設立	32
※71	障害者スポーツ指導員 スポーツを通して、障害を持つ人たちに身体を動かすことの楽しさを伝え、身体能力の向上、さらにスポーツ技術の上達を目指して指導するアドバイザー	33
※72	ホームページ ウェブブラウザを起動した時に表示されるウェブページなどの画面（ページ）	33
※73	WEB 「ワールドワイドウェブ」の略。インターネット上に分散したハイパーテキスト形式の情報を検索するシステム	33
※74	スポーツコミュニティサイト チーム紹介や活動内容等を登録し、公開することで、一緒にスポーツを楽しめる人を探したりできるとともに、スポーツに対するコミュニケーションの場を設けることで、スポーツ活動への参加機会を増やし、スポーツとライフスタイルの活性化を目指す、インターネット上のサイト	33
※75	スポーツクラブ 21 にしわき連絡協議会 西脇市にある8つのスポーツクラブによる連絡協議会	34
※76	定住自立圏 地方圏において、三大都市圏と並ぶ人口定住の受け皿として形成される圏域で、定住自立圏の形成に当たっては、医療や買い物など住民生活に必要な機能について一定の集積があり、周辺の市町村の住民もその機能を活用しているような都市が「中心市」となり、圏域全体において中心的な役割を担うことが想定されている。	34
※77	スポーツボランティアバンク 地域社会やスポーツ団体・クラブ、各種スポーツイベントなどにおいて、個人の自由意志に基づき、その技能や時間などを進んで提供し、社会に貢献する活動	35

<p>※78</p>	<p>ワールドマスターズゲームズKANSAI 2021/JAPAN</p> <p>昭和60（1985）年に第1回カナダ・トロント大会が開催され、令和3（2021）年の関西大会で10回目を迎える国際大会。（新型コロナウイルス感染拡大防止により翌年に延期）「スポーツ・フォー・ライフ（人生を豊かにするスポーツ）」が理念。一人ひとりの挑戦と多様な交流の和をつなげ、地域の独自性や日本の伝統・文化を世界に発信し、次世代に夢をおくる生涯スポーツの祭典</p>	<p>35</p>
------------	---	-----------

西脇市民体育大会参加者数

H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
2,390	3,265	3,357	3,425	3,444	2,902	2,926	2,735	2,313	1,042

西脇市体育協会加盟団体・登録者数

団体名	年 度		H23		H24		H25		H26		H27		H28		H29		H30		H31		R2	
	登録者数等	団体数	登録者数	団体数	登録者数	団体数	登録者数	団体数	登録者数	団体数	登録者数	団体数	登録者数	団体数	登録者数	団体数	登録者数	団体数	登録者数	団体数	登録者数	団体数
1 陸上競技協会	35	14	34	14	33	14	38	14	39	14	41	14	41	14	39	14	40	14	37	14	37	14
2 庭球協会	60	22	60	22	60	22	42	22	42	22	33	19	33	19	33	19	33	19	35	20	35	20
3 卓球協会	110	11	110	11	100	10	100	10	100	10	120	10	120	10	120	10	120	10	120	10	120	10
4 ハレホール協会	160	1	160	1	160	1	160	1	160	1	160	1	160	1	160	1	160	1	160	1	160	1
5 軟式野球協会	820	47	800	46	800	46	750	43	620	34	550	29	550	29	550	28	550	28	550	28	550	28
6 柔道協会	48	1	48	1	48	1	40	1	40	1	38	1	39	1	38	1	36	1	15	1	15	1
7 水泳協会	8	1	8	1	2	1	2	1	2	1												
8 剣道連盟	94	4	90	4	94	4	77	4	80	4	80	4	76	6	66	1	65	1	63	1	63	1
9 ソフトボール協会	455	25	395	23	395	23	440	23	472	23	462	23	462	23	445	21	445	21	371	22	371	22
10 家庭ハレホール協会	230	22	230	22	100	12	100	10	100	9	100	9	100	7	100	7	100	7	100	7	100	7
11 空手協会	56	1	54	1	42	1	42	1	42	1	42	1	42	1	42	1	48	1	48	1	48	1
12 少林寺拳法協会	47	2	42	2	35	2	35	2	34	2	34	2	31	2	27	2	24	2	22	2	22	2
13 スポーツ少年団	231	9	214	9	200	9	200	8	188	7	188	7	188	7	196	7	196	7	196	7	196	7
14 バドミントン協会	42	1	42	1	34	1	33	1	33	1	48	1	61	1	59	1	60	1	41	1	41	1
15 硬式テニス協会	120	4	112	4	112	4	112	4	112	4	102	4	102	4	102	4	102	4	102	4	102	4
16 スキー協会	43	1	40	1	40	1	43	1	43	1	49	1	49	1	49	1						
17 サッカー協会	428	10	462	10	475	10	455	10	427	10	409	9	380	6	453	9	390	7	210	6	210	6
18 岳人会	8	1	20	1	21	1	23	1	26	1	30	1	29	1	34	1	29	1	33	1	33	1
19 グラウンドゴルフ協会			240	21	240	21	240	21	273	21	284	22	284	22	284	22	284	22	284	22	284	22
20 硬式野球協会							50	2	35	2	35	2	100	2	100	2	100	2	100	2	100	2
合計	2,995	177	3,161	195	2,991	184	2,982	180	2,868	169	2,805	160	2,847	157	2,897	152	2,782	149	2,487	150	2,487	150

西脇市スポーツ少年団団員数

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
西脇剣道スポーツ少年団	15	16	12	14	34	13	10	9	11	11
西脇柔道スポーツ少年団	15	12	10	13	10	5	6	4	4	4
西脇サッカースポーツ少年団	70	81	77	87	83	80	54	37	25	30
日野剣道スポーツ少年団	2	3	4	0	0	0	0	0	0	0
西脇空手道スポーツ少年団	49	43	35	25	32	41	36	32	37	33
西脇野球スポーツ少年団	44	34	34	29	36	45	38	41	40	38
日野バレースポーツ少年団	13	9	10	8	10	8	8	0	0	0
西脇バレースポーツ少年団	13	6	8	7	10	8	10	9	7	8
黒田庄ジュニアバレーボールクラブスポーツ少年団	10	10	10	7	8	11	12	14	11	9
合計	231	214	200	190	223	211	174	146	135	133

スポーツ教室参加者数

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	備考
ソフトテニス	87	107	81	110	122	78	79	82	75	0	R2年度中止
ソフトボール	20	21	14	17	32	26	24	25	15	20	
バドミントン	20	47	45	33	46	27	51	65	26	0	H30年度春季・秋季2回開催、R2年度中止
卓球	38	29	35	33	33	36	50	49	25	0	R2年度中止
陸上競技	26	35	23	25	30	21	23	23	43	0	R2年度中止
少林寺拳法	0	0	0	23	40	27	14	22	16	0	H26年度から開始、R2年度中止
硬式テニス	24	26	19	14	21	32	35	30	27	27	
ジュニアサッカー	39	68	47	72	41	42	0	0	42	60	H29年度・H30年度中止
剣道	19	17	17	0	26	4	0	6	27	8	H26年度・H29年度中止
スキー(スノーボード)	30	0	25	25	25	0	0	0	0	0	H24年度、H28年度以降中止
合計	303	350	306	352	416	293	276	302	296	115	

スポーツクラブ21各クラブ会員数

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
スポーツクラブ21日野	38	54	55	64	48	43	24
スポーツクラブ21比也野	100	110	103	113	131	93	99
スポーツクラブ21重春・野村	78	90	93	89	88	89	85
スポーツクラブ21くすがおか	61	63	83	96	100	102	100
スポーツクラブ21芳田	62	54	91	84	87	66	90
スポーツクラブ21西脇・津万	215	136	152	182	155	139	116
スポーツクラブ21さくら	77	76	64	55	55	59	62
スポーツクラブ21双葉	40	43	44	52	81	76	75
合計	671	626	685	735	745	667	651



西脇市スポーツ推進計画

令和3年3月

西脇市